



明 柔

93, F

明治大学柔道部明柔会会報

明治連覇

東海大を撃退！



第41回 全日本学生優勝大会

精 力 秀 用

進平齋

シヨウザイ

進平齋は嘉納治五郎師範が
六〇才代に用いられた雅号

自 他 廿 禁

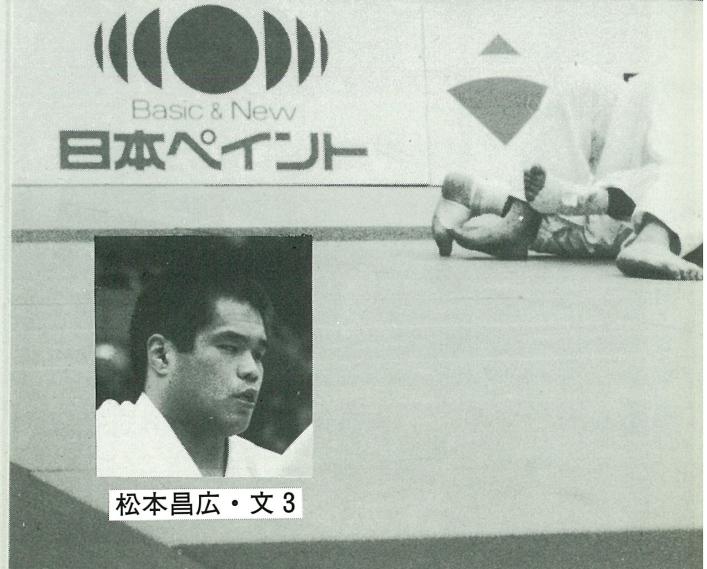
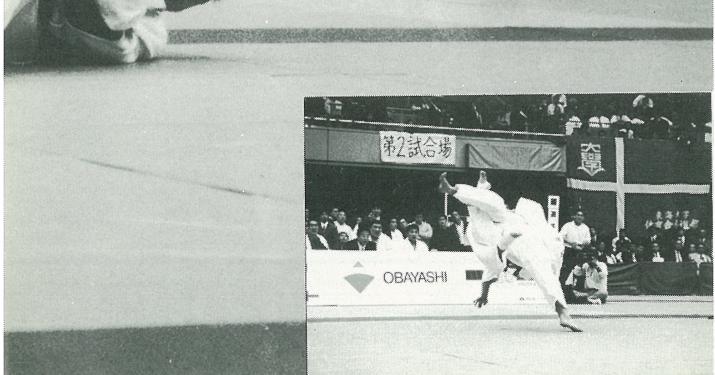
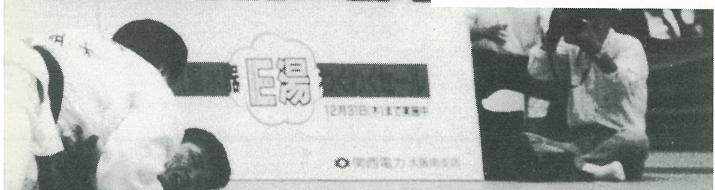
優勝回数14に伸ばす



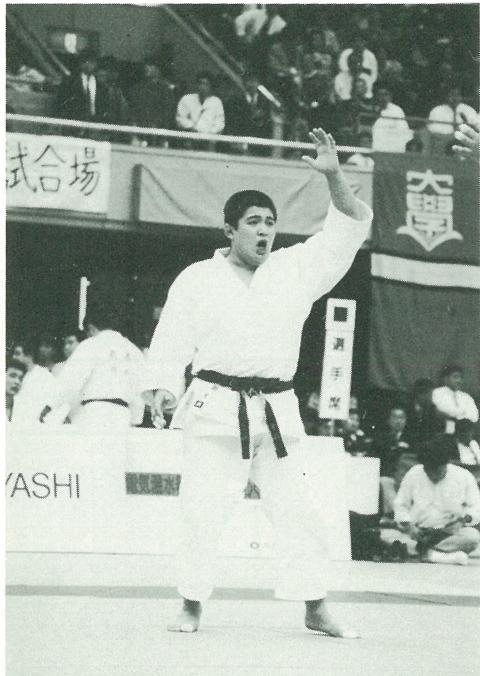
(11/7.8 大阪府立体育館)

内股一閃

・・・
突き刺したのは
今年も松本！



七人のサムライ



中嶋一也・文 3



大瀧賢二（副将）
・経営 4



秀島大介（主将）・政経 4



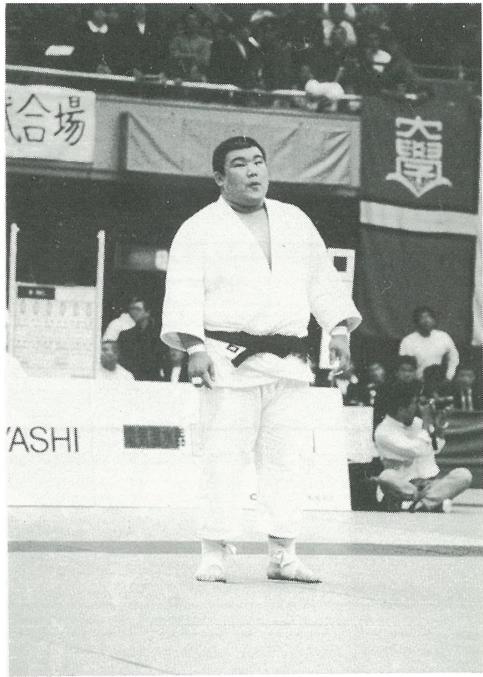
山本兼治・文 2



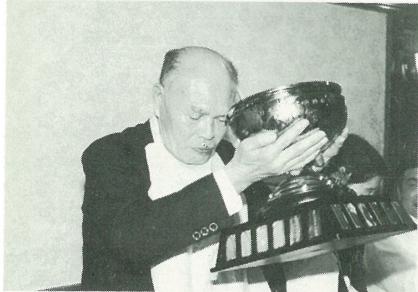
鉄谷竜三・文 2



佐々木伸也・経営 3



Congratulation V-14



去年と同じ

ベンチも火の玉

関西の先輩たち

Congratulation V-14



金城 孝治氏



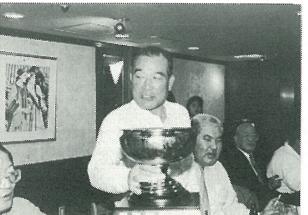
山本 忠夫氏



朝田 紀明氏



大橋 武彦氏



甲斐 福男氏

明柔（明治大学柔道部明柔会会報）目次

巻頭言……

部長 百瀬恵夫……1

明治輝く連覇・逆転で東海大を降す……

2

全日本学生柔道優勝大会三連覇……

6

日はまた昇る二連覇の偉業を祝う……

7

連覇の思い出……

9

吾が喜びに反は舞う……

11

四連覇の回想……

14

「四六年四七年」無失点優勝だった二年目……

16

連続優勝の記録……

18

私の人生は柔道からスタート……

30

開国に播れるスポーツ界……

33

優秀なプレーは栄養に……

36

明柔会会宿所建設委員会……

38

明柔会会宿所再建・七月着工決る……

39

I-J-Fルール解説……

43

戦前の柔道に学ぼう.....

一九九二年の夏はじめてのヨーロッパ旅行.....森 幸夫 47

近況報告.....早田 豊 50

永井祐治君をしのんで.....坂井良司 52

道場往来.....

思い出の一枚.....

明大の技⑩(秀島大介の小内刈).....

明大の技⑪(小内刈).....

明大の技⑫(小内刈).....

明大の技⑬(小内刈).....

明大の技⑭(小内刈).....

明大の技⑮(小内刈).....

明大の技⑯(小内刈).....

明大の技⑰(小内刈).....

明大の技⑱(小内刈).....

明大の技⑲(小内刈).....

明大の技⑳(小内刈).....

明大の技㉑(小内刈).....

明大の技㉒(小内刈).....

明大の技㉓(小内刈).....

明大の技㉔(小内刈).....

明大の技㉕(小内刈).....

明大の技㉖(小内刈).....

明大の技㉗(小内刈).....

明大の技㉘(小内刈).....

明大の技㉙(小内刈).....

明大の技㉚(小内刈).....

明大の技㉛(小内刈).....

明大の技㉜(小内刈).....

明大の技㉝(小内刈).....

明大の技㉞(小内刈).....

明大の技㉟(小内刈).....

卷頭言

原監督の功績を称える



昨年の十一月七・八日に大阪府立体育会館で行われた「全日本学生優勝大会」で宿敵東海大学を破って、明治大学は二年連覇の優勝に輝いた。

明治の二連覇は、正に偉業という以外にないだろう。部員わずかに二十数名での勝利への道は、並大抵のことではない。そこで、私はここで原監督に対して感謝の心を込めて感じていることを述べてみたい。

原氏が、母校明治柔道部の助監督に迎えられたのは、昭和六十一年の一月であった。当時は、合宿所で学生達と一緒に起居を共にして、師弟というよりも兄弟のような関係をつくり出していった。非常にきびしい稽古をつけた指導者としての誉れ高い原先生は、道場での鬼の様な目と道場の外での象のようなやさしい目とで学生達を指導してきた。現代弟子は、ただきびしい指導だけでは誰もついてこない。しかし、甘やかした指導では稽古は樂であっても選手は強くならない。

強い明治柔道部がなぜ出来上がったろうか。それは、原監督の柔道に対する強靭な情熱と学生に対する愛情の然らしめるところである。原監督の真正直に取り組む指導姿勢こそが、学生の心を動かし、心技体を向上させてきたのである。

昨年の夏合宿は、大阪府警道場で行われたが、府警の指導者や近畿地区的大学の指導者は、原監督の指導方法や稽古量の豊富さを驚きの目でみていた。「これでは明大を破ることは容易ではない」という葉巻を私が直接多くの指導者から聞かされた。

原氏が助監督四年、監督三年を務めてきた年月は休日なき明大道場の日々であった。十九年の低迷からの脱出は、すべての情熱を明大柔道部の再建に賭けられた原氏によるものといつても決して過言ではないだろう。

ここに、原監督の柔道部に対するご努力に心から敬意と感謝を申し上げる次第

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 編集後記..... | 73 | 74 | 75 | 76 | 77 | 78 | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 | 84 | 85 | 86 | 87 | 88 | 89 | 90 | 91 | 92 | 93 | 94 | 95 | 96 | 97 | 98 | 99 | 100 |
| 卒業生のコメント..... | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実証された初の科学的サポート..... | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 柔道の英語..... | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 健康コーナー..... | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 得意技の解説(三角絞め)..... | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成5年度日本学生柔道連盟・東京学生柔道連盟事業計画(案)..... | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 東京学生柔道連盟役員(平成4年度)..... | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 住所変更・計報通知..... | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

大瀧—引分け—中村

東京大会の代表戦で大瀧は中村に抑えられる。中村は本年度の学生無差別級と八五kg級の両タイトルを持つている。大瀧は九五kg超のC実力者同志の対戦に場内一瞬静まる。

東海側としては最近勝っている中村に期するところが多かったと思うが、この試合むしろ大瀧の気魄が目立った。一進一退をくりかえして引分けとなる。ともにボイントゲッターのこの場面であったが手の内を知った同志であり、団体戦のこの局面であれば動きが出ないのも当然か。

出来す時間となる。平成二年全日本選手権大会ベスト8のプライドにかけて早急の立ちなおりを期す。

○松本—内股 松村

一点を背負った松本にあせりは見られないが、「一分すぎ」、松村得意の小外刈に横転、「有効」を失う。去年も同じだったがポイントを失つても変に力はないのが松本の真骨頂バタバタ攻めると相手に守りのバターンを作らせてしまつことをよく知つた。あわてず引き手をとった瞬間の技だつた。

中嶋—技有り—岩田○

大会全般を通して明治の誤算は中嶋の不調だった。中嶋はキャリアから見どころの場面でもボイントを計算できる選手である。しかし、本大会は不調をきわめ中嶋らしさを一つも出さぬまま決勝の対戦となつた。結局は不調を脱し切れず。開始早々から受けに回つてしまつた。結局内股「有効」から抑えられ一本寸前のがれたが「技有り」となる。その後も逆転の体制になることが

山本—引分け—池田

山本・池田とともに中量級の選手、北田は七八kg級の学生Cで四年生、二年生の山本とはキャリアに差があったが、山本はベンチの指示通り攻げきに徹し互格にわたりあう。一分を切つて勝負を意識したか指導をとられたがこれはいたし方ないところか。

山本—引分け—岩田○

始三〇秒、東海・松村の得意技、小外掛に崩れ、先に「有効」を取られた。しかし、一分一五秒、しっかりと引き手をとった瞬間に、左内股一閃、局面は逆転した。

明治は昨年もそうであったが本年も部員は二名。東海などベスト4に進出したほかの三校が百名を有に超す大所帯なに対し層は薄く、選手の体格もあきらかに劣つてゐる。

その分は練習量でおぎなうしかない。レ

競り合いに生きる

明治の稽古！

副将松本昌弘はチームとしても、自身も

リードを許す苦しい展開に、少しも焦つていなかつた。「自分が苦しい時は、相手はそれ以上に苦しいんだ。」きびしい練習の支えに常に頭にたたき込まれている言葉を胸に見事な逆転勝ちに結びつけた。

松本は落ちついていた。自分の組み手には絶対とれる」と信じていた。

直前に中嶋一也が技有り優勢負けを喫し、「ポイントを追う場面で登場した。開

始三〇秒、東海・松村の得意技、小外掛に崩れ、先に「有効」を取られた。しかし、一分一五秒、しっかりと引き手をとった瞬間に、左内股一閃、局面は逆転した。

明治は昨年もそうであったが本年も部員は二名。東海などベスト4に進出したほかの三校が百名を有に超す大所帯なに対し層は薄く、選手の体格もあきらかに劣つてゐる。

その分は練習量でおぎなうしかない。レ



を通してこれから都市空間を考えます。

(社) 日本公園施設業協会会員
(財) 日本造園修景協会会員
(社) 日本造園コンサルタント協会賛助会員

株式会社 琢和

代表取締役 高田誠之助
専務取締役 高渡昌正
工務部次長 田辺代俊

本 社 〒104 東京都中央区八丁堀4-10-2 八丁堀ビル
TEL.03-3553-7201 FAX.03-3553-7235
横浜営業所 〒221 神奈川県横浜市神奈川区反町4-37-3 ベルハウス横浜反町1103
TEL.045-312-8244 FAX.045-312-8247
千葉集配 〒277 千葉県東葛飾郡沼南町藤ヶ谷新田字大佛44-1-3
TEL.0471-93-1651 FAX.0471-93-1651

採石加工所 国内: 岐阜、長野、山梨、山形、群馬
国外: 韓国、中国

全日本学生柔道優勝

大会二連覇

姿 節 雄



平成四年度第四十回全日本学生柔道優勝大会は十一月七、八日の二日間にわたり東京の日本武道館より大阪の府立体育館に移して挙行された。この大会は本年度より五年間大阪で開催されることになった。我が明大柔道部は昨年引続き二連覇の偉業をなしとげ十四回目の優勝を飾った。試合結果は準優勝戦(対天理大)で〇対〇の代表戦勝ち、決勝は昨年と同じ対東海大で一対一の内容勝ち、大接戦の優勝で感概一人のものがある。

選手は全員一丸となりよく健斗した。準優勝戦の代表大瀧(明)

対桑父(天理)は前半大瀧がおざれ気味であつたが、時間まぎわの乾坤一擲の大外巻込みで得点には至らずも僅差優勝で決勝戦に駒をすゝめることが出来た。

決勝戦の対東海大では昨年に引き続き松本が内股一本勝

で、技あり優勝勝ちの失点を邁転

一対一乍ら内容で

東京からも神永君はじめ多数の明柔会員が応援にかけつけてくれ感謝のほかありません。

この二連覇は百瀬部長、原監督、重松助監督の厳しい指導と、部員一同の日々たゆまざる精進の結果であり、又小林敏邦君がコーチとして連日道場に詰め、会報「明柔」の編集を一手に引受けるとともに、部員の面倒を種々みてくれている陰の力に対しても謝意を表します。

全国明柔会の諸兄には物心両面にわたる温かい御声援に対し厚くお礼申上げます。

今回の大阪大会では大阪明柔会に大変お世話になりました。東京からも神永君はじめ多数の明柔会員が応援にかけつけてくれます。また大将戦となり石橋(明)が後にさがつて逃げる斎藤(日)を二回、三回、と追い込み、内股で投げたが審判場外としてとらずに分けに終り、一対一の内容差で破れ涙を呑んだ口惜しさは今でも忘れるることは出来ない。この頃の明大対日大戦は宿命の対決と云われたものであるが、今日の対戦相手は東海大に変わったようである。但し昭和六十三年度(第三十七回)以降は五年連続東の明治、東海、西の天理、近畿が準優勝戦に残り同点の内容差、代表戦を演じしのぎを削っている。

東京からも神永君はじめ多数の明柔会員が応援にかけつけてくれ感謝のほかありません。

この二連覇は百瀬部長、原監督、重松助監督の厳しい指導と、部員一同の日々たゆまざる精進の結果であり、又小林敏邦君がコーチとして連日道場に詰め、会報「明柔」の編集を一手に引受けるとともに、部員の面倒を種々みてくれている陰の力に対しても謝意を表します。

全国明柔会の諸兄には物心両面にわたる温かい御声援に対し厚くお礼申上げます。

日はまた昇る

二連覇の偉業を祝う

押 切 義 春

んできた。

そこで、当時の足跡の一端を振り返ると

私の入学した頃、学生柔道はG・H・Qの占領政策により禁止の時代であった。

しかし、戦前の学生柔道界の主役を演じ

てきた本学の諸先輩方が柔道復活に賭ける

歴史を飾る素晴らしい快挙云々ある。

ここに指導陣をはじめ、選手諸君とそれ

を支えてきた部員並びに父兄の皆様に深く

敬意を表すると共に心からお慶びを申し上

げたい。

この2連覇の興奮さややらぬなかで、私

も在学当時の3連覇(二九五二・一

九五三・一九五五)のこと�이

かしく脳裏に浮か

たしかに明大の一人々の技量は他大学のそれと比較すると大きな格差があった。

従つて、明大柔道が当時の日本柔道界のけい引役を果たしてきたのも衆知のことな

がら胸に残った例えば3連覇のメンバーを見ても、私の同期で主将の山尾、河辺、岩

崎、渡辺、政、渡辺、欣の諸氏それに一年後輩の石橋・中野・小林の各氏とそれを取巻く部員のレベルは他大学ではみると

のできない秀でた「技能集団」であったと云えます。

しかしながら、たとえ個人々が強くても

団体戦で勝利することはこれ又、至難なことを体戦で勝利することはこれ又、至難なこ

とにとて知られている。

つまり、個人戦と団体戦とはその戦略面に於いて大きく異なるからだ。

その違いを次の3点に要約することがで

きる

(1) 団体戦は個人の実力にプラス勢いと

運が大切で、この勢いと運を引き出すこと

が求められる。



そのときのマスコミ論調によれば明大は大はオ一回の大会以降、圧倒的な強さで優勝回数を塗りかえてきた。

そのときのマスコミ論調によれば明大は勝つあたりまえ、常勝王者の明治と云うのが定評となっていた。

バーラップして懷かしく脳裏に浮か

(3) オーダーの組合せは正に用兵の妙味として相手を予見することや味方のどこにポイントをおくかなど知恵の勝負として重視される。

このような団体戦の場合、一人の力量に限界があることは明白の理で、如何に会員の協力関係と意志統一を計るかが大きな鍵となる。たゞ私は3連霸のとき最上級生として、「主務」役を担当していた関係で、師範・監督や諸先輩が勝負哲学の教えと共に時に心の連体即ち信頼の絆の高揚につつて腐心されていた事を垣間見ることができた。

毎日の激しい稽古で、ときには怪我や病気で塞き込んでいる者或いは負け、スラングで悩んでいる者等に対し、適切な助言と励ましは本当に心を知る立場でないと出来ないことがあつた。

その上、更には師範・先輩・学生らが一体となっての種々の会合等で課題を共有してきたこうした人間形成の積み重ねが優勝と云う目標に向う際一人々の胸に刻まれ金員の行動力として結集されてはじめて達成されるわけである。

この様に技の追求と人間形成の原則は昔も今も変わらない筈である。

最後に先輩の一人として、2連霸を達成し、母校復活の夢を再現してくれた学生諸君へ海音寺潮五郎氏の言葉を贈って筆をおく。

「才と英雄だけが飛躍するのです。しかし、人間が絶えず天才であり、英雄であるということは非常に難しい。ある時期に英雄であり、天才であるにすぎないかも美女や美男がある短い時間だけがそうであるように。そういう考え方私はもつてているのです。つまり、生涯を通じて天才であり英雄であるという人はおそらく、この世にいない。肝心な時に天才であつたり、英雄であつたりした人が後世に残る大事業をするのでない」とある。

（七段・二九年度主務）

ボタン・服飾附属
鈴木商事有限公司
鈴木 強（46年度卒）
足利市八幡町 82-12
電話(0284) 4616-4617

ジヤムの専門メーカー
J A 業務認定工場 / 輸出品製造承認工場
株式会社アドージャム
東京・大阪・札幌・仙台 工場
名古屋・福岡・松本 場
長野県松本市大字宮賀 595番地 電話 026-6811

台東区柔道会

(31年度卒)
理事長 丸山彰治

小藤田整骨院

院長 小藤田勝彦
(S40年度卒)
東京都板橋区弥生町38-7
TEL 03-3972-0055



小川登志雄(三三年度主務)

吾が喜びに友は舞う

私は現在住んでいる埼玉県

春日部市の武道館で毎週土曜日と日曜日に市内の青少年を集めて柔道の指導をしていま

す。

小学生はさ程でもないので私が喜んで、中学生、高校生になるが、テレビや新聞に報道され柔道大会を興味をもつて見るようになります。

「先生の母校、明治大学柔道部は昔は強かつたのだ」と言つて、聞かせてみても、彼等は「フーン」とうなづくよくなれない、とりの無い反応です。それも無理の無いことで、明治大学柔道部が弱權を誇っていたのは彼等が生れる以前のこと、

彼等にとっては「歴史上の物語」となつてゐるわけです。そつし華々しい連勝の記録が記憶に刻み込まれるのであります。

彼等には全日本学生柔道優勝大会での東海大学や天理大学の柔道大会を興味をもつて見るようになります。

た折、平成三年の第四〇回全日本学生柔道優勝大会で明治大学が正に十九年ぶりに優勝をかち取ったことは、待ちに待っていた本当に嬉しいことでした。そして更に次の四十一回大会に優勝・二連霸です。

十九年ぶりでもあり、一回だけの優勝であると、勿論これとも立派な戦績であります。これが他のライバル大学から追われる立場になりながら二連霸を成し遂げた訳ですから、全くの実力、地力の証しであります。

この連霸が更に更に続くことを期待いたしますが、それがどれ程の難事業であるかということともよく知つて居ます。

部員の人数にしてからが、百人に余る部員を擁する他の有力校に対し、明治大学柔道部では三十名そこそこであります。現況は、数に於て『多勢に無勢』柔道部やその他の諸設備に対して『費饒と清貧』と言つた國式の様であります。それらのマイナスの要因をかかえながらの連霸達成に能う限りの声援を送り敬意を表しました。昭和三十二年の第六回大会、続いて昭和三十三年の第七回大会の優勝であります。

大会の成績や記録については、茫々三千余年の歳月は余りにも永くて細かなところは記憶が確かではありませんが、私が四年生の時の第七回大会での決勝戦の代表戦だけははつきり憶えて居ります。試合場のそばで声をかぎりに応援する大勢の部員の激しい

息づかいや勝負が決まった瞬間の身振りが止まらない程の興奮と感動は忘れることが出来ません。

試合の模様は昭和五十六年五月に全日本学生柔道連盟によって開催された創立三十周年の記念誌『学生柔道三十年の歩み』にくわべられています。

決勝戦まで勝ち進んだのは明治大学と関西の雄・天理大学。先鋒からすと引分が続いたところ副将で明治がボーリントを取られ判定負けとなりました。主将神永選手は対古賀選手激しい攻防の末神永選手は期待にこたえて優勢勝、ここで代表戦で決着をつけるという場面になりました。

実は神永選手はこの大会の前から膝を傷めていて少し動かしても痛みがはる様な症状だったのです。恰も先のバルセロナオリンピック大会で膝の負傷を押して戦った古賀選手と同じ様な状況だったのです。応援する者には選手の怪我の痛みが苦が身に直接感じられることがあります。テレビ応援をしているうち終つてみたら自分の膝が痛くなっていた、あの感じです。

記念誌の記述を引用しますと『代表戦は五段古賀正躬、四段神永昭天、場内全興奮のルツボの中、古賀渾身の力で強襲するも神永よく耐え、力をふりしぼって返せば古賀の体はどと後倒した。対戦三分場内のどよめきに主審の宣告もかき消されるほど。明大輝かしい勝利を獲得した一瞬であった』

記述は数行ありますが、この三分間の試合時間がいかにも長く感じられたことあります。神永選手が痛む膝を古賀選手の膝車や支釘込足で激しく執拗に攻められる度に間近で応援している

者は息をのむ思いでした。大外刈り返しで古賀選手が大きく倒れ『一本』の瞬間、頭の中がマッ白になつた様な感覚はその後、五十余年の今に致るまで経験がありません。やはりも云うのでしようか冷靜な視点で観戦しています。やはり多感な学生時代に、それこそ『友の憂に吾は泣き吾が喜びに友は舞う』と云つた氣持で間近に見た試合が『私にとっての名勝負』として記憶に刻みこまれています。

今まで柔道の試合は機会ある毎に観にかけますが年の功とでも云うので、そのうかがいでの観戦しています。やはり多感な学生時代に、それこそ『友の憂に吾は泣き吾が喜びに友は舞う』と云つた氣持で間近に見た試合が『私にとっての名勝負』として記憶に刻みこまれています。

まぐろ専門 尾利長水産

代表取締役 杉山澄雄 (31年度)

中央区築地 5-2-1

東京中央卸売市場

電話 03-3541-3769



四連霸の回想

関 勝 治

学生諸君、連続優勝本当におめ

でとう。

今年の優勝は各チームに一段と研究された上でのことですから格別のご苦労があつたことと思います。明治の実力があらためて認められ、昨年の優勝がフロッグでなかつたことが証明されました。この結果に自信を持ち三連霸、四連霸を目指さざしてください。

先般、明柔編集部から私たちの時代に達成した「四連霸」の回想記事を寄せせるようにいわれ、学生諸君の参考になればと思い筆をとることにしました。私は幸運なことに10回大会から13回大会まで全試合に出場することができただけでなく、晴れの優勝旗を四回握った。まさにに幸せな男であります。

四連霸の年度、主将名、同年の四年生数、及び対戦成績を記載して見ます。

36年度 主将 田中 章雄 16名 明大2対1中大

37年度 主将 朝田 紀明 26名 明大4対2日大

38年度 主将 菅原隆三郎 19名 明大4対1日大

39年度 主将 関 勝治 26名 明大3対1早大

私達の時代はあの狭い道場でいつも100名位の部員がおりましたのでとにかく凄まじい練習状況でした。今思ひ出しますとですから私は稽古について道場の大小にはこだわりません。内容の充実した練習は道場が小さくても出来るのです。我々の時は四年生が主体となって年度計画を立て平常の練習内容を検討し監督に了解していただき学生が自主的に練習しております。毎日葉山監督、姿師範、萬根、神永両先生をはじめ多くの先輩がお見えになりいつも道場は緊迫していくて真剣勝負の場であつたのです。狭い道場のため後輩同志が練習していると直ぐ降らされる状態でした。一日に一本も練習出来ない部員が大勢いた時代です。私は、四連霸を向えた年主将を選ばれました。同期生には全日本選手権に出席した坂口、山本、村井、植草、鳥海、中谷など優秀な選手が大勢おりましたのでレギュラーになるのは大変な時代でした。因みにこの全国警察官選抜チームと試合をする機会があり乗勝取得了。それが自分のためにもなりチームのまとまりにもなっていました。それが自分のためにもありチームのまとまりにもなつたと思います又基礎練習体力作りも合理的的なものにし、準備体

操もソ連式など取り入れ他のスポーツ体操なども研究致しました。練習は朝晩夜と、しかも厳しい内容でしたから時々不平不満を耳にすることもありましたが同期生が一丸となつておりましたのでチームワークを堅持して四連覇を達成する事ができました。

この年は、東京オリンピック開催の年でもあります。年の柔道選手は皆バイブルとして競いつて精進したのも好い結果につながつたのだと思ひます。明大初の四連覇でしたので「沖縄遠征」のご褒美をいただきましたが、これも練習試合をしながらの旅でした。



私の四年間の柔道部生活の中でとくに印象に残つてのことなどを二つ書きます。

一つは大学二年生の東京学生柔道大会の時のことであります。早大に不覚をとつたのです。

その夜、朝田主将は反省と本大会優勝を期して選手会員頭を剃ろうといいました。私は同期の坂口と澄水園の寮で剃りあいました。それから全日本迄の約一ヶ月間死にもの狂いの練習が始まりました。私は頭から

流れ落ちる汗が目にしみるたびにファイトを新たにしたものでした。一度負けまいと心にちかい練習に励んだのです。監督の指導と主将の自主的な行動と部員が一丸となつた結果二連覇が達成出来ました。四年生の頃張つたことは私にとって決して悪い思い出ではなくむしろ青春時代のすがすがしい思い出として現在でも残つております。

二つ目はある後輩の部員生活についてであります。私が一年生の時熊本出身のS君という一年生が毎日しつこいように「稽古をお願い致します」といつきたものでした。当時のS君ほどにかく骨ばついて体にさわると痛い位の細身でした。柔道も立技は吹けば飛ぶような実力を持たでした。寝技の方はほど申しますと亀と呼ばれていたのです。私は相手にならないのでおことわりしていました。ところが私が三年生になったある日葉山先生に呼ばれまして「関S君に寝技の基本を教えなさい」といわれましたのでそれからのS君との二人三脚がはじまりました。毎日の稽古の他にウェート・トレーニング、柔軟体操など与えられたメニューをどんどんこなし、彼は日に日に強くなつていきました。体重をつけるため丼飯五杯を二時間かけてゆっくり食べ、夏は食欲増進になるといわれた当時全々飲めなかつた缶ビールを飲んで努力をしていました。そのかいがあつて70kgだった体重も四年生時には百キロになつておらず同時にレギュラーにも選ばれ中心選手として活躍しました。その後全日本選手権大会にも出場し、全国警察官選手権大会に優勝したことは知られているところです。明大道場

紳士・婦人・子供 各 種

帽子のミヤシタ

(宮下光男 27年卒)

東京都葛飾区新小岩1-39-9
新小岩銀座アーケード街
電話(3651)0691

社団法人日本柔道整復師会副会長
近畿ブロック会会長
社団法人大阪府柔道整復師会名譽会長

金城 孝治

日 総 東京都台東区上野公園16番9号
〒110電話東京(03) 3821-3511番鈴
大 阪 大阪市西区新町3丁目10番
電 話 大阪市都島区高倉町3丁目1番8号
〒534電話大阪(06) 925-0707番
921-5012番

送電線路建設工事設計施工 高田電設株式会社



取締役社長 高田 喜之
(昭和30年度卒)

本社 東京都新宿区大久保1-10-4
電 話 03(3209)8241(代表)
支社、出張所 仙台、名古屋、札幌

「四六年四七年」

無失点優勝だった二年目

古井敬吉

まず、現役部員、指導陣、明柔会員の皆様に心から連覇V14のお祝いを申し上げます。

昨年の優勝は、一九年ぶりと言うことで明柔関係者の感激は格別のものがありました。そして、連覇を狙ふ今年、昨年桂であつた吉田主将の卒業もあり、連覇はあるか、あれば私が現役の時、S四六年、四七年の連続優勝以来だ、と期待と懸念の気持ちで見守りました。結果は「見事」にやってくれました。大会数日後明柔会の幹事会で神永先生が、「諸般の状況を思えば今回の優勝は昨年以上の難しさがあるたと思う」といっておられました

が、重圧をほねの見守りました。

さて、この年の優勝はボイントゲーフォーマーチャンピオンシップで東海大に代表戦ながら敗れ苦しい状況に追ひ込まれましたが本大会では昨年同様鮮やかに勝利をおさめました。ビンチを逆にバネとする学生諸君の集中力に非凡なものを感じると同時に姿勢純粋監督の高い指導性に改めて敬服するものです。

ぶり返つて二〇年前、S四六年六月、明治は十回目の優勝を果たしました。監督は神永先生、私は三年生でした。入学難からボツボツ部員が少なくなりはじめたころで部員が道場の壁を三重にも固んでいた、という二十年代の道場風景ではありません

でしたが、現在よりもまだ多く、何よりも実力アップになったのは若手のOBたちが連日大勢見えいやという程稽古をつけてくれた事でした。日によっては学生よりOBの方が多いことがあつたくらいです。因に、ほぼ勤されていたのは田中(章)、関(村井)、篠巻(安賀)、佐々木(満)湯浅(石橋)重先輩たちで、ほかに他大学出身の実業団選手も當時何人か来ていたのですから、稽古の中味はいやでも濃くなっている訳です。

さて、この年の優勝はボイントゲーフォーマーチャンピオンシップで河原主将を負いてのものでありますから、まだ三層が厚かった当時の底力をどうかがい知ることが出来ます。

肝疾で休んでいる主将にかわってチームを引つばった副将の岩田先輩が、決勝中大戦で見せた鮮やかな「送り足払」はいまも目に焼きついています。

翌年の優勝は寒く安定した内容で一回戦から無失点優勝でした。東京、全日本を通しての無失点優勝はあるいは記録ではないでしょうか。(東京大会は三連勝)。

メンバーは、四年生、鯨島俊隆、上村春



古井敬吉
S46-S47年 明柔会幹事会
S47年 明柔会会長

樹 加茂博久仁、吉井敬吉、飯塚栄、三年生、吉永造一、薦田茂久、二年生、原吉美、一年生、田中弘一の九人で、この年の全日本選手権大会三位になっている重松義成とミュンヘンオリンピックの金メダル川口孝夫がケガのため出ていないのですから勝つのがあたりまえのようにいわれるわけです。

勝つても内容によってはしかられた時代ですから連勝をした喜びと同時に安堵感から「ほほ」とした気持の方も強かつたことが思ひ出されます。

連覇達成の夜、篠巻先輩たちに四年生全員が連れていつてもらった新宿の高級クラブでのくつろぎ、また私事ながら優勝がきっかけで心地よい写真を入れたところ、母と兄が亡父の写真を持って応援に行つているといわれ、涙した時のことなど、思い出はつきません。仲間に迷惑をかけたくないといつて頑張つただけですが実力的にいま一つであった私が優勝メンバーに名を連ねることが出来たのは運がよかったです。いわなければなりません。この時以来、昨年までの十九年間、柔道部は優勝の一文字

を忘れていました。そして、ここに来ての二連勝、明治が本当に帰ってきたのです。いつの時代でもそれぞの思い出があります。喜びも苦しみも強かつた時代とそうでなかつた時代では多少感じが違うものです。

しかし、優勝はOB全員が共通の感激と誇りを感じる時です。まして連続優勝となれば、この思いは一しょです。頑張つた学生諸君に感謝の気持ちで一ぱいです。他校柔道部と比べられる厳しい部の環境は、今後も続していくものと思いますが、誇りを持つて困難に対処し三度目の三連覇に向けて一層の精進を期待するものです。

IICイメージサーチセンター
本部事務局 近藤喜彦

渋谷接骨院
根本整骨研究会理事
大田区柔道会常任理事
大田区立志茂田中学校講師
渋谷正久
〒145 東京都大田区西八幡1-18-1 プレスカイハイ102
TEL 03-3733-0850

豊かな食生活を担うブランド
それが私たちの誇りです。



南日本ハム株式会社
代表取締役副社長 岩崎勇
本社・工場/宮崎県日向市財光寺1193 ☎0982-54-4188㈹ ¥883

手に選ばれた。試合終了後、嘉納会長から表彰があり、早川大会委員長の講評があつて大会の幕を閉じた。

連霸三二、三年

昭和二十一年

第六回全日本学生柔道優勝大会

学生柔道連盟主催 文部省 全日本柔道連盟主催
盟、毎日新聞社後援で七月七日東京・千駄ヶ谷の東京都立体育館で開催された。参加者
が新会場だけに明るい清新の気の充ちた大會となつた。

| 明治大戰 | | 拓殖大戰 | |
|------------|-----------|-----------------|---------|
| 3 重松 | 正成○ | 2 優勢勝 | 3 吉田 |
| 3 山口 | 友孝 引 分 | 1 和早 | 3 永井 |
| 3 黒住 | 大和 引 分 | 3 隆義 | 3 乙女 |
| 4 野田健太郎 | (大外刈) | ○ 3 山口信三郎 | 1 吉年 |

4 德山 操 (引分) 4 佐藤 和久

早稲田大学 三宅倫三段
拓殖大学 山口信二郎三段

昭和二十三年

第七回全日本学生柔道優勝大会

日東京・千馬ノ名の東方者皆、体育館で行わるれ、全國選抜二十校百八十名の強豪が若い力と潑刺とした技の激突を展開して觀衆約八千を熱狂させた。

午前九時藻々した柔道衣装の選手入場のあと早川大公委員長の開会宣言。国旗掲揚式から優勝戦へ。
国歌吹奏、前年優勝戦から優勝戦へ。
と文部大臣杯が返還され、ついで嘉納大太郎
会長の力の籠つた講道館精神を最高度に
激励は熱を帯び、神水四段の選手宣誓もさ
た力があふれて拍手がわき起り、いすれも
印象深かつた。全日本柔道の下地がここに
生まれ育てられて各界に雄飛して限りない
が、今年の躍進振りも自覚ましかつた。

| | | | | |
|------|------------------|-------------------|-----------------|-----------|
| 明治大学 | 4 重松 富賀見真典 | 3 正成 ○(返し技) | 4 (優勢勝) ○ | 1 関西大学 |
| | 3 安田 | 成雄 | 3 柴田 康雄 | |

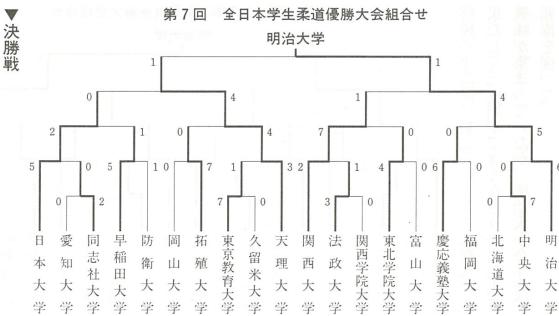
▼準決勝戦

| | | |
|------------------|-------|---------|
| 明治大学 | 4 | 関西大学 |
| 3重松 正成 | 1 | |
| 4富賀見真典○ (返し技) | （優勢勝） | ○3柴田 康雄 |
| 3安田 成雄 | | |

ところで時間。敗れたとはいへ関大は予想以上の善戦で、特に柴田の技は立派だった。

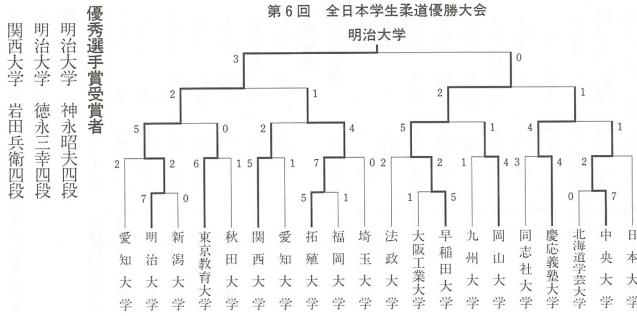
▼決勝戦

明治大學
天理大學



第7回 全日本学生柔道優勝大会組合せ

明治大學



第6回 全日本学生柔道優勝大会

明治

4 甲斐 福男 (引) 分 4 井上 信明

4 徳山 操 (引) 分 4 松本成四郎

4 小林 健児 (引) 分 4 田村 盛

4 篠原 一雄 (優勢勝) ○ 4 杉尾 春彦

4 神永 昭夫 (優勢勝) ○ 5 古賀 正躬

予想通り東西の強豪明治大学と大理大学の対決。先鋒重松は米田の先を封じて大内刈。大外刈の連発。米田慣熟攻勢に転じ釣込腰極ったが場外。いよいよ熱戦酣の時間となり引分。次先鋒は東元の内場外。富貴見の大外刈。背負投も東元には通用せず引分。東元は大きめ富貴見は小さいが技に優れ妙簡津々の好試合だった。

井上対甲斐は事なく時間切れ引分。松本の内股、寝技も徳永惹き引分。小林内股、外刈を放すが田村崩れず、田村の突如放つた左払腰に小林空を舞つたが体を転じてきまらず、判定は引分。

続く杉尾は明大篠原の小内刈を返して有効なポイントを取る。判定は杉尾にあがり実に六戦目で天理貴重な一点を先取。主将戦に入るや、神永の左大外刈に古賀の体転び、技有に近いポイントで場内沸く。古賀よくがん張つたが判定は神永ち上がり、同

点となり満場騒然。

▼代表戦

4 神永 昭夫 (返し技) 5 古賀 正躬

4 天理 大学 古賀正躬五段

明治大学 神永昭夫四段

明治大学 甲斐福男四段

関西大学 柴田康雄三段

日本大学 木田正明四段

日本大学 木田正明四段

天理大学 古賀正躬五段

明治大学 神永昭夫四段

明治大学 甲斐福男四段

関西大学 柴田康雄三段

日本大学 木田正明四段

日本大学 木田正明四段

天理大学 古賀正躬五段

明治大学 神永昭夫四段

明治大学 甲斐福男四段

関西大学 柴田康雄三段

日本大学 木田正明四段

日本大学 木田正明四段

天理大学 古賀正躬五段

明治大学 神永昭夫四段

明治大学 甲斐福男四段

関西大学 柴田康雄三段

日本大学 木田正明四段

日本大学 木田正明四段

天理大学 古賀正躬五段

明治大学 神永昭夫四段

明治大学 甲斐福男四段

関西大学 柴田康雄三段

日本大学 木田正明四段

日本大学 木田正明四段

天理大学 古賀正躬五段

明治大学 神永昭夫四段

明治大学 甲斐福男四段

◇第十一回全日本学生柔道優勝大会

恒例の全日本学生柔道優勝大会は六月十六日、七日の両日午前十時から東京・立会館で行われた。今大会は出場校も二十校から三十二校に増えていたが、試合もこれまでの一

日から二日間に分けて行つたのは出場校が増えたことから、これまで年々接近してき

た各校の実力差がまた離れてしまうのでは

ないかと懸念されたが、地区代表校が奮闘したため割合によく試合が多く、特に地方の

一 昭和三十七年

四連霸三六年から

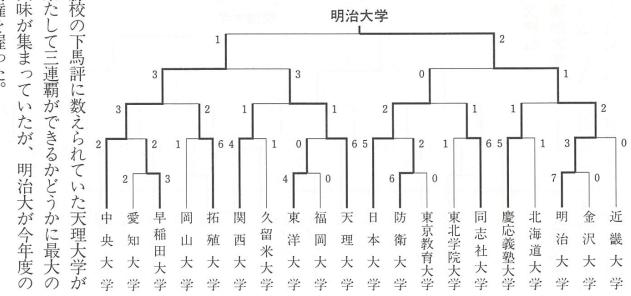
一 昭和三十六年

◇第十一回全日本学生柔道優勝大会

第十一回全日本学生柔道優勝大会は六月十八日午前十時から東京都立体育館で行われ

NHK、NTVがテレビ放送を行つた。優

第10回 全日本学生柔道優勝大会組合せ



| | | | |
|-------|----|------|---------------------|
| 4 村井 | 正芳 | 4 関 | 勝治 |
| (優勢勝) | ○ | 3 平石 | 正則 |
| 3 高松 | ● | 4 山本 | 忠史(大外刈) |
| 宝勉 | ▲ | 4 坂口 | 興介(内股) |
| 3 内 | △ | 4 取 | 征一(大外刈) |
| 翼 | ■ | 4 朝田 | 紀明(引分) |
| 4 鈴木 | ▲ | 4 田村 | 英靖(優勢勝) |
| 伸彥 | ● | 4 大西 | 平右(右大外刈) |
| 4 白崎 | ○ | 4 深柳 | 英美(左大外刈) |
| 淳悦 | ● | 4 松岡 | 入るが場所 |
| 高英 | ▲ | 4 神屋 | 平石右大外刈から巻き込んで |
| 英夫 | △ | 4 朝田 | ポイントを取る |
| 英美 | ■ | 4 田村 | 平石優勢勝 |
| 英英 | ■ | 4 大西 | 高さで |
| 英英 | ● | 4 村井 | 松岡の急攻を外しているうち時間終了 |
| 英英 | ● | 4 関 | 右小外掛け技有り、優勢勝を收め |
| 英英 | ● | 4 坂口 | 0とリード。続、明大山本必死の右大外刈 |
| 英英 | ● | 4 取 | 見事に決まり一本。神屋力いっぱい下内を |
| 英英 | ● | 4 朝田 | 内股ではね上げ一本。明大2対2のタイに |
| 英英 | ● | 4 田村 | 持ち込む。 |
| 英英 | ● | 4 大西 | 巨人坂口、必死の右大外刈に鉛木たまら |
| 英英 | ● | 4 関 | ず宙に浮き一本。朝田対白崎は互いによく |
| 英英 | ● | 4 坂口 | 攻めたが決定的な技が出す時間切れ、引分 |
| 英英 | ● | 4 取 | け。田村、東西を上まわり、よ攻めて内 |
| 英英 | ● | 4 朝田 | 股より技あり、決定的なポイントだった。 |
| 英英 | ● | 4 田村 | こうして優秀四校の決勝リーグ戦は明 |
| 英英 | ● | 4 大西 | 大、日大、中大が激しくせりあつて、各2 |

田村興徳四回
日本大学 中央大学 山本彰一四回
平石正則三四回
天理大学 興田光男四回
明治大学 3上野 武則○ (優勢勝)
4閔 勝治 (引分) 十五、十六日、東京都立体
校、二日制で試合方法も
一ヶ形式を採用した。こ
にできるだけ多く出場さ
に、実力の伸仲した優勢勝
きるよう配慮したため。
昭和三十八年一

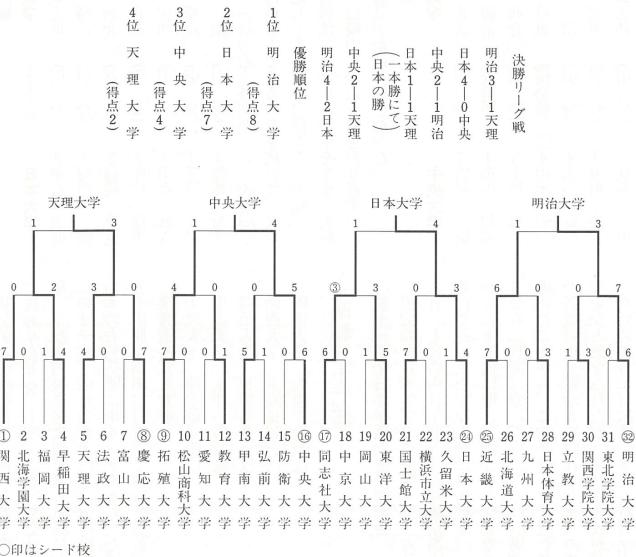
昭和三十六年

勝敗の同率となたか
点で日大より一点点多く、通算七度目の優勝
を飾った。優勝順位は、一位明治大学、二位
日本大学、三位中吳大学、四位天理大学。
優秀選手賞受賞者
明治大学 坂口征一四段
日本大学 田村興靖四段
中央大学 平右正則三段
山本彰一四段
天理大学 興田光男四段

◇第十二回全日本学生柔道優勝大会
第十二回全日本学生柔道優勝大会は六月
十五、十六日、東京都立体育館で行われた。
本大会も昨年に引きつづき出場校三十二
校、二日制で試合方法もトーナメント・リ
ーグ形式を採用した。これは全国の各大学
にできるだけ多く出場し機会を与えると共に
に、実力の伯仲した優秀校が十分に試合で
きるよう配慮したため。

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|------|-----------|-------------------|---|----|----|-----|---|---|----|------|----|---|
| 4 | 坂口 | 征二〇 | (畠山方回) | 4 | 山村 | 忠史 | 引 | 引 | 4 | 本山 | 忠史 | 引 | 引 |
| 4 | 石原 | 賢信 | (裸絞) | 4 | 村井 | 正芳 | (引) | 分 | 4 | 原田 | 興典 | 光男 | |
| 4 | 伊藤 | 武範 | | 4 | 安井 | 清 | | | 4 | 金 | 義泰 | | |
| 3 | 明治大学 | は上野・富田・坂口 | 石原と四人勝ち対早稲田戦を決めた。 | 3 | 中山 | 闘一 | | | 3 | 中山 | 闘一 | | |
| 4 | 明治大学 | 正芳 | 天外巻込 | 4 | 長井 | 孝光 | | | 4 | 坂口 | 石原と四 | | |
| 4 | 富田 | 弘美 | (引) 分 | 3 | 山崎 | 泰一 | | | 4 | 坂口 | 石原と四 | | |
| 4 | 関 | 勝勝 | (天外車) | 3 | 淀谷 | 隆弘 | | | 4 | 坂口 | 石原と四 | | |
| 4 | 坂口 | 征二〇 | (天外刈) | 4 | 片岡 | 安 | | | 4 | 坂口 | 石原と四 | | |
| 3 | 上野 | 武則 | (引) 分 | 4 | 萩原 | 脅一 | | | 4 | 坂口 | 石原と四 | | |
| 4 | 山本 | 忠史 | (引) 分 | 4 | 伊藤 | 博元 | | | 4 | 坂口 | 石原と四 | | |
| 4 | 石原 | 賢信 | (天外刈) | 4 | 平井 | 信之 | | | 4 | 坂口 | 石原と四 | | |
| 4 | 明治大学 | は早稲田大学 | に対し村井・関 | | | | | | 4 | 坂口 | 石原と四 | | |
| 4 | 村井 | 正芳 | (横四方回) | | | | | | 4 | 坂口 | 石原と四 | | |
| 4 | 関 | 勝治 | (引) 分 | | | | | | 4 | 坂口 | 石原と四 | | |
| 3 | 富田 | 弘美 | (送襟絞) | | | | | | 4 | 坂口 | 石原と四 | | |
| 4 | 石原 | 賢信 | (合せ技) | | | | | | 4 | 坂口 | 石原と四 | | |
| 3 | 上野 | 武則 | (優勢勝) | | | | | | 4 | 坂口 | 石原と四 | | |
| 4 | 山本 | 忠史 | (私の腰) | | | | | | 4 | 坂口 | 石原と四 | | |
| 4 | 鈴木 | 伸彦 | | | | | | | 4 | 坂口 | 石原と四 | | |

第11回 全日本学生柔道優勝大会組合せ



| | |
|----------------------|---|
| 車見事に決まり一本。 | 体の離れたところにタイミング良く右の足 |
| 中央大学 | 2—1 |
| 岡野 功 | (優勢勝) |
| 木村 秀一 | (引 分) |
| 吉村 嶽 | (引 分) |
| 中村 浩之 | (優勢勝) |
| 下坂 卓夫 | (引 分) |
| 芳垣 修一 | (優勢勝) |
| 先鋒岡野の左背負投げに閑横転、ボイン | ト。岡野終始押し気味に試合を運び優勢勝。 |
| 木村 村井の脚を下よりはさま、寝技を防 | いでいたが、脚のはさまがとけた瞬間よく逃げ引分け。神屋不調で身体が浮き、吉村 |
| 内刈技術り、中村なますところなく敗退。山 | 本左内股 |
| 本左内股 下坂右払腰ともに不発、引分け | 4 関 勝治 4 村井 正芳 4 神屋 輿介 4 田村 景靖 4 山本 忠史 4 朝田 紀明 |
| | 明治大学 |

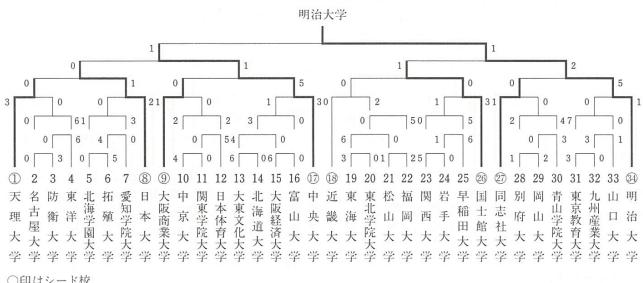
| | | | | | |
|---|---------------------|-----------------------------------|------------------|-------|-------|
| 明治大学 | | 2 | — | 1 | 国士館大学 |
| 3 吉永 浩二 | 引 分 | 3 稲田 博実 | | | |
| 3 上村 春樹 | 引 分 | 3 佐野 五郎 | | | |
| 3 松重 義成 | 引 分 | 3 上野 清吾 | | | |
| 3 加茂博久仁 | (合せ技) ○ | 3 中村 均 | | | |
| 3 原 優隆○ | 内 股 | 3 須崎 欽一 | | | |
| 3 岩田 吉美○ | (優勢勝) | 3 柴田 米昭 | | | |
| 4 岩田 久和 | (引 分) | 3 吉田富士夫 | | | |
| 吉永 左一本背負から送巻絞をねらった | が場外 | 吉永右体落 左一本背負と積極的に攻めれば、稲田は慎重にさばいて時間 | | | |
| 引分。上村は左背負、佐野は右体落で合。 | 上村の右一本背負は不十分、佐野の右大外 | に攻めれば、稲田は慎重にさばいて時間 | | | |
| は遠く、時間となって引分。重松左技をねらおうとするところを上野右内股、左一本 | 上村の右一本背負から送巻絞をねらった | に攻めれば、稲田は慎重にさばいて時間 | | | |
| 背負いにいくも技にならず、重松の左大 | が場外 | に攻めれば、稲田は慎重にさばいて時間 | | | |
| △第二十一回全日本学生柔道優勝大会 | △準決勝戦 | △決勝戦 | △第十一回全日本学生柔道優勝大会 | △準決勝戦 | △決勝戦 |
| 明治大学 | 3 | — | 中央太学 | 後藤誠 | 四段 |
| 3 原 吉美○ (優勢勝) | 3 | — | 青山学院大学 | | |
| 3 吉井 敬吉 | (引 分) | 3 新原 広洋 | | | |
| 3 吉永 浩二 | (引 分) | 3 初古沢 和興 | | | |
| 3 上村 春樹○ (崩右四方固) | 3 大草 隆三 | 3 神守 勤一 | | | |
| 3 飯塚 栄○ (内 股) | 3 水野 進 | 3 佐々木國雄 | | | |
| 3 加茂博久仁 | (引 分) | 2 古里 長治 | | | |
| 3 薦田 茂久 | (引 分) | 3 佐々木國雄 | | | |
| ライン際での原の内股を新原掬投に応するもさきます。しばらく慎重な攻防が続き、組み際に放つた原の右一本背負技有りとなり、明大リード。吉井の右体落に古沢浮、が場外。再三、吉井が体落で攻めるが古沢よくわからず。なおも攻めたてる吉井、激 | | | | | |
| 合が展開され東洋大、拓大、日体大、大東文化大、東海大、早大、青学大、東教大の八校が決勝トーナメント戦進出を決めた。第二日も東海大がシード校近大を破るなど、緊迫した試合が続いたが、決勝は明大、中大の対決となり、明大が三年ぶり十二回目の優勝を成し遂げた。 | | | | | |

不十分。神守も内股、跳腰も積極的に応戦したが、引分。
上村 大草戦 上村機を見て放つた送足払に大草たまらず横転、続いて上村がガツチリ抑えこんで明治が二勝目を挙げる。飯塚 扇腰にいくも水野が低い姿勢でかわす。飯塚浮技のチャンスをうかがうも果たさず。防戦一方の水野、組み際の飯塚の内股に大きいくどんだがまりすぎで立つやすかさず左の内股を放つては一本。古里体落にいけば加茂これをつぶして場外。加茂、足を取つて押したてたが場外。共に背負投で攻め合つも単発、引分となる。
佐々木、いきなり右背負投にいくも薙田つぶして場外。続く佐々木の大内刈に薙田退くも残して場外。佐々木右一本背負、薙田、大外刈から腰脛に変わつたが場外。両者取る気十分、激しい攻防も引分となる。青学大は準決勝進出を果たす活躍を見せたが、明大の牙城には及ばず。

| ◇第二十一回全日本学生柔道優勝大会 | | ▼準決勝戦 | |
|---|---|-------|--------|
| 明治大学 | 3 | 0 | 青山学院大学 |
| 3原 吉美○(優勢勝) | | | 3新原 広洋 |
| 3吉永 敬引○(引分) | | | 初古沢 和興 |
| 3吉永 浩二○(引分) | | | 3神守 恒一 |
| 3上村 春樹○(角下四方回) | | | 3大草 隆三 |
| 3飯塚 栄○(内股) | | | 3水野 進 |
| 3加茂博久仁○(引分) | | | 2古里 長治 |
| 3萬田 茂久○(引分) | | | 3佐々木国雄 |
| ライイン際での原の内股を新原撲殺に応するもきまらず。しばらく慎重な攻防が続き、組み際に放つ原の右一本背負技有利となり、明大リード。吉井の右体落に古沢浮くが場外。再三、吉井が体落で攻めるが古沢 | | | |
| よくわからず。なおも攻めたてる吉井、激しい動きから谷落もせるが引分。神守内股で先行するが吉永心得て残す。吉永右大内、体落と攻めつつ左一本背負もねらうが | | | |

不十分。神守も内股、跳腰も積極的に応戦したが、引分。
上村 大草戦 上村機を見て放った送足私に大草たまらず横転、結いて上村がガツチリ押えこんで、明治が二勝目を挙げる。飯塚 手腰にいくも水野が低い姿勢でかわす。飯塚浮技のチャンスをうかがうも果たさず。防戦一方の水野、組み際の飯塚の内股に大きいくとんだがまわりすぎて技有り。立つやすかざす左の内股を放つては一本。古里体落には加茂これをつぶして場外。加茂、足を取つて押したが場外。共に背負投で攻め合つも単発、引分となる。
佐々木、いきなり右背負投にいくも薦田つぶして場外。続く佐々木の大内刈に薦田退くも残して場外。佐々木右一本背負、薦田、大外刈から手腰に変わつたが場外。両者取る気十分、激しい攻防も引分となる。青学大は準決勝進出を果たす活躍を見せたが、明大の牙城には及ばず。

第20回 全日本学生柔道優勝大会組合せ



▼準決勝戦

合が展開され東洋大、拓大、日体大、大東文化大、東海大、早大、青学大、東教大の八校が決勝トーナメント戦進出を決めた。第二日も東海大がシード校近大を破るなど、緊迫した試合が続いたが、決勝は明大、中大の対決となり、明大が三年ぶり十二回目の優勝を遂げた。

中央集權

▼決勝戦

| | | | |
|---|------------|-----------|------|
| <p>外も技有にならず引分。中村の右大外技り、さらに対外から巻込んで技有りを連取し、中村エースぶりを遺憾なく発揮。国士館点のリード。</p> <p>鮫島左大内、内股と間断なく攻め、遂にラインインで廻に左内股を決め、両校は一対一の対。柴田 きぎなり右大内から押したて原横転するも場所。原右小内からの右一本背負はついに技有り。原の活躍で明大背負、一点リード。吉田、一点を挽回しようつと左内股を先行。岩田、吉田の攻めを慎重にさばいて引分。一点のリードを守つて明大決勝進出。</p> | | | |
| ▼決勝戦 | | | |
| 明治大学 | | | |
| 3 鮫島 優隆 | 引 分 | 1 — 1 | 中央大学 |
| 3 上村 春樹 | 引 分 | 4 友松 広 | |
| 3 重松 義成 | 引 分 | 4 後藤 誠一 | |
| 3 吉永 造一 | 引 分 | 2 国屋 隆志 | |
| 3 加茂博久仁 | 引 分 | 2 中川 博光 | |
| 4 岩田 久和○ | (小外刈) | 3 浅野 隆司 | |
| 3 原 吉実 | (優勝) ○ | 4 土屋 正 | |
| 鮫島左から内股 | 内股をみせれば、友松 | ○ 4 渡辺 常雄 | |
| 奥襟を取つて右内股をねらうが、鮫島ガツ | | | |
| 上村 大草戦、上村機を見て放つた送足 | | | |
| 私に大草たまらず横転、結いて上村がガツチリ抑えこんで明治が二勝目を擧げる。飯塚、私腰にいくも水野が低い姿勢でかわす。飯塚浮技のチャンスをうかがつも果たさず。防戦一方の水野、組み際の飯塚の内股に大きくとんだがまわりすぎて技有り。立つやすかさず左の内股を放つては一本。古里体落にいけば加茂これをつぶして場外。古里加茂、足を取つて押したてが場外。共に背負投で攻め合つも単発、引分となる。 | | | |
| 佐々木、いきなり右背負投にいくも薦田つぶして場外。続く佐々木の内刈に薦田退くも残して場外。続く佐々木の一本背負投、大外刈から腰技に変わつた場外。両者取る気十分、激しい攻防も引分となる。青学大は準決勝戦を果たす活躍を見せたが、明大の牙城には及ばず。 | | | |
| ▼決勝戦 | | | |
| 明治大学 | 1 — 0 | 國士館大學 | |
| 3 薦田 茂久 | 引 分 | 4 上野 清吾 | |
| 3 鮫島 俊隆 | 引 分 | 3 中野 雅之 | |

3吉
浩一 引分 3中村 均
3上村 春樹○ (織四方園)
5原 吉美 引分 3横倉 安雄
3飯塚 栄 引分 3門田 幸延
3加茂 博久仁 引分 3回観
上野 防御姿勢を統合して指導を受ける。

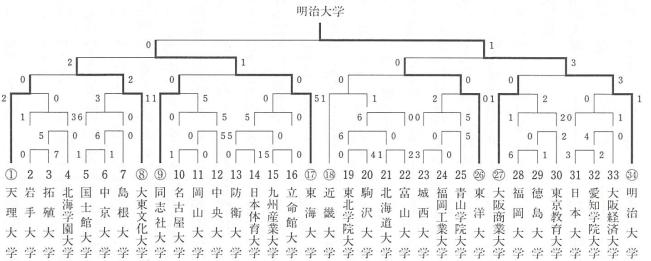
薦田右脚で攻めようとすれば、上野一本背負で先を取るが攻なし。薦田、背後について絞めをねらうが、上野立つ。上野左一本背負から大外に変わったが時間、引分。

薦田左大外を放てば、鯨島必死に堪えるも横倒し。鯨島左小内、内股で反攻。鯨島左足払から内股とみせて左小内にいき、よく効いたが中野体をひねって伏す。中野の左背負に鯨島左小外で押したたが中野伏し時間、引分。

中村右背負にいくが、吉永低く構えて残さ込んだが場外。吉永の引込みに注意。吉永の左一本背負は不十分、中村、ポイントを挙げようと必死の大外も吉永かわして時間、引分。上村左釣込腰で先行、横倉右内股で応酬するが場外上村左体落、大内と攻め横倉右小外から右内股に連絡すれば、上村

泳いだがかわす。ライン際で上村、横倉の内股をつぶして縦四方にガッチャリ入つて一本。挽回を期す門田、右一本背負から凹投と積極的。原の右大内き返攻は浅い。門田の左背負を原小外で返さうとしたが場外。門田右小内、原右一本背負、門田右体落、双手刈、原左内股と間断ない攻防も時間となって引分。廻が右一本背負に続いて右内股にいけば飯塚横捨身で終わつたが場外。廻、右一本背負を連発。廻の右一本背負を飯塚背後にについて絞めをねらつたが場外、時間となって引分。加茂左、秋田右の組み手争いから秋田のかにばさま、加茂かわして体側から固めをねらい一度は上四方に入つたかに見えたが秋田辛くも伏す。膠着状態から立つて加茂右一本背負にいくのを秋田送継をねらつたが加茂さばいて時間、引分となる。

第21回 全日本学生柔道優勝大会組合せ



◎印はシード校

有限公司 工スエ一商事

代表取締役 村木 雄

〒111 東京都台東区柳橋1-1-15
TEL 03 (3863) 3300
FAX 03 (3863) 3308



株式会社 町山事務機

代表取締役 町山 良行
川崎市多摩区東牛田1-13-1 〒214
TEL. 044 933 3311 FAX. 044 933 3518

食肉業界に奉仕する中島グループ

中島興業株式会社 代表取締役 中島平人
中島畜産食品株式会社 水谷武史
日本栄養食品株式会社 総合本社
中島畜産市場仲買株式会社 東京・墨田区人形町1-6-8
弘友食品株式会社 〠130-0029(大代)

本場広東料理の殿堂 浅草観音通り 商店街 宝来樓

(株)唐人商行
總支配人 平田博俊 (S30年卒)
東京都台東区浅草1-1-7 TEL (3841)4592
予約 TEL (3841)3796

若山石油(株)

代表取締役社長
藤井 洋二
(32年度卒)

〒746 山口県新南陽市温田二丁目3番8号
TEL 0834-62-3176

飼料用外国産大麦・東北須印庄ベン米・挽砕米
二種混合飼料 ラーメンフレーク・醸造原料
製造販売
会員社 塚本食糧工業所
〒639 福岡県甘木市大字甘木240
☎ 0946(22)2061~216 FAX 0946(24)4564
福岡ティ銀行甘木支店
取引銀行 福岡銀行 甘木支店
建築邦銀 甘木支店

たてかわ接骨院

井上 恭夫
(S52年卒)

東京都墨田区立川3-2-12
TEL 03-3634-1419

菓子問屋 株式会社 ダンジョー

取締役社長 段上 秀馬

東京都墨田区本所4丁目11番5号
電話 622-9121 (代表)

私の人生は

柔道からスタート

古賀愛人

明大入学から三船師範のもとへ

『三度目の正直』という言葉があるが、編集部からの強い要請で

臆面もなく、続いて二度目の登場となつたが、「柔道と私の人生」が明柔会で学びゆく学生諸君や、既に社会人となつた若き群像たちについて、何らかの示唆になれば幸いであると思ふ。ところでここ

にとて、何らかの不囁となれば幸いであると思ひへんをとることにした。

て旧満州の南端に当たる関東州（現在の中国）大連市



後入学）起中島の東京高等商船学校（現在の商船大学）に過一回先生の代講として斎藤先輩と共に、またある時は一人で教えに行っていた。

いままで「京都の折り」には昭和新美大戸の三輪政路あたりを訪れ当時を偲ぶことがあるが、今まではずつかりまさかまい百坪にもぼるがあるの広い跡はどこへやら、ラブホアルをはじめ多くの家がぎっしりと建ち並んでいて時代の流れを感じと思わせる。

叫^け了一事に車輪^{くるりん}に挂^つかるが、まことに歩^{ある}の姿で列^{はし}ており、そのころ小学校^{しょうがっこう}の学生^{がくせい}だつた現在の店主^{しゆてん}が、私^{わたくし}を覚^{おぼ}えていてくれるのが嬉しい限りだ。歌手^{うきょうし}の霧島^{きりしま}昇^あがミスコンピュアと結婚^{けつこん}して、この三船^{さんぱん}邸^{てい}から一メートルばかり離れたところに住んでおり、可愛い子供^{こども}を抱^{いだ}っこして毎朝^{まいじょう}家の前を通^{とお}ってゆくので、よく挨拶^{あいさつ}を交わしたのを思い出す。

また夜になると大木戸から四谷塙町までの大通りの両側に數十軒の屋台が出て賑わっていたが、遅くなつてここで飲んでいると、時折酔っぱらいのけんかがはじまり、遠くの方から『三船の書生さーん』と応援を求める声がかかつたものである。

雨中の学徒動員出陣式をあとに

やがて昭和十八年の十月末、戦運懸々暗くなり、齊藤先輩らと共に神宮外苑で行われた学徒動員出陣式に参加、私は中隊長としてサーベルを抜いて指揮をとり、どしゃぶりのなかを行進したのを忘ることはできない。

“生か死か”を乗り越え復学の道へ

であった繩田喜美雄先生、柔道八段、大正十二年（1923）初代学生相撲横綱から強引に明大進学を進められ、結局明大専門部政経学科に入学、合わせて現在の姿師範と同じ様に明大柔道部の師範であり、柔道の神様ともいわれた三船久蔵一段（当時は九段）の家に内弟子として入門した。

私が三船先生をはじめて知ったのは東京学連対全満州の対抗戦が大連市で行われた際のことである。姿先輩が学連の雄として拓右門の木村、早稻田の尾崎、慶心の藤川（いずれも五段）たちと顔を前にしてやつてききた時のことである。

三船先生の胸を借りてぶつかり稽古をしている姿先輩の当時の

姿は今まで私の瞼の裏にくつきりと焼きついている。
「この人が有名な明治の姿か」と自問自答しながら、私は驚きと

尊敬の眼で見惚れたことを今まで忘れる事とはできない。

三船先生の家には、姿先輩卒業のあと、同じ広島出身の故教育雑誌編集者島刑務所の刑務官として、のちに同所の柔道師範となり、いまも柔道界で活躍している広島市の山肩君や福岡県の警察官となつて、のちに同県警の柔道師範として警視正にまでなつた久留米の石橋君などと一緒に入学したのだが、私は太字での練習の傍ら、三船先生が師範をされていた新宿大久保の開成中学（現在高校）をはじめ、築地勝鬨閣のたもとについた海軍経理学校、中学校卒業のあと、

このあと私は十一月一日辻井信蔵の小倉兵庫守備隊第七十一大隊副官として北九州市小倉区に入隊。現在は兵庫県立入学。最後はシガボールの第七方面軍直轄特務機関に配属され、マライ共産軍の宣撫工作のため、セナイといつ村から約二百マイル奥地のジャンクルのなかに陣取っていたマライ共産軍本部に、マライの青年一人を連れて潜入、八月十五日の終戦とともに知らず、共産軍の兵士と一緒に間苦楽を共にしていた。

映画「007」(ゼロ・ゼロ・セブン) などに、ある日なんとなく身の危険を感じ、然し敗戦の色濃い時だけに、歩哨の目を盗み脱出、勝手に通道をどうてセナイへの行き、マライントンと並んで、廊下を歩いて、ピストルを空中に向け撃つ、中国人の運転するトラックをやつと停め、中国語で話かけながらショールベルまでたどりいたのである。

に終戦を迎えていたところ、早速ジョーホーバルの憲兵隊本部から機関本部に連絡して貰つて直接連絡がとれ、十日遅れではあるが無事終戦を味わうことができたのだった。

然しその時は既に機関本部はスマトラへ逃避しており、機関連隊の故森原中佐が全責任を背負つて一人残留しているのみ。さらにはスマトラ海峡も英軍によって封鎖されているため、どうするとも出来ず、私も運を天にまかせて参謀と共に捕虜になる身を覚悟してその日を待つことに。

だが英軍はシンボール上陸後私たちを簡単には帰してくれなかつた。特務機関から第七方面軍情報将校ということにくらがえして、なにくわぬ顔をしていたが、ある日英軍から呼び出され、ジープで連れてゆかれ、一応戦犯審議で五ヶ月にわたり取調べを受ける身となつた。

こうなつては「正に生が死」の境地である。

然し若かつたとの柔道で鍛えた心身のおかげで、どんな誘導尋問にも耐え抜くことができ、無事帰国することができたのである。

昭和二十一年五月「國破れて山河あり」私はともかく故郷の姿をみた。上陸の名古屋港から一路鈴鳴りの復員列車に乗って福岡へ。途中原爆で焼けただれた広島や、一面焼野ヶ原となつた北九州一带（小倉兵器廠や八幡製鉄所など）軍需工場が存在していた地域を見眺めた時、その爪跡のものすこさにつくづく敗戦のみじめさを思い知らざるにはいられなかつた。

「これから日本のはどうなつてゆくのだろうか。故郷の風に吹かれながら私は自分の進む道を考え、とにかく復学して明日への道を求めるよう決心、十月上京と同時に政経学部に復学。応援してくれる人があつて小さな土建会社を作り、その頃流行の『学生社長』となり、新宿駅の裏側現在東京都府がある新宿の西側）の焼野ヶ原の整地作業に当たつた。新宿駅の東側は「幸」側で戦後いち早く商店街として復興、且つての喫茶「尾津親分」がとりしきっていたので、なにはともあれ、俗にいう「仁義」を切りに挨拶に行つたところ「ほほー明



（首相官邸記者クラブ時代の筆者）

新聞から放送への転身

機会も多く、おまけに私より一廻り上の犬年という関係もあつて、それこそ兄弟のよくなじ接な仲であつた。そんなことから一方では同志の記者五人と書つて、大平を縁理にする会を作り、酒席を共にしながら将来をめざして応援したものである。

然し、こうしたなかで政治家への望を抱きながらも、三十七年三月テレビ西日本の当時の社長から強く要請されて、新聞から放送へ止むなく転することになつたのである。

一代目、二代目でない代議士には當選しない時代の変遷を思うと、私にとってこれがよかつたのかも知れないといまでは思つている。

いずれにしろ私にとっては石橋内閣誕生の黒衣役を新聞記者なりに演じた（既に詳報）ことを含め、十年に及ぶ政治記者時代の経験は今まで深く思出と共に大きな財産だと思っている。民放界は今まで深く思出と共に、やがて衛星放送時代を迎える時代がすぐそこにはつてきている。私はそのためにも時代に対応した備えを築いておかなければならぬと考へ、福岡市が考えているアジアを対象とした国際都市づくりの一角に、福岡市では一番高い二十階建てのマルチメディアビルの建設を考え、今春着工する準備を進めている。

福岡市は勿論、博多湾を一望する眺望豊かな所であり、ここに本社を移し、九州の民放局を実現するのが私の夢である。

民放連理事長・九州代表同経営委員長
テレビ西日本社長

大の学生さんですか、おまけに三船先生のお弟子さんですか、しつかりおやんなさき」と逆に激ましてくれ、おかげで若い者がテラ銭をせびりくる様なものもなかつた。一方幸運なことに大学にはGHQをものともせぬ偉大な牧川理事長がおられた、柔道クラブの誕生をみることができたのである。（詳報すみ）

政治家を志し新宿記者

然し、親ゆずりとはいえ土建業はあくまでも私にとっては「習わぬ経を読み」の類、卒業を期に政治家を志すと思い、その近道は新聞記者だと考え、日本三天ブロック紙の一つである故郷福岡の西日本新聞を受験、ジャーナリストへの一步を踏み出したのである。

長崎県立の事件記者を派出に本社社会部の遊軍記者（話題を拾つて書くレポーター記者）を経て、待望の東京支社政経部の経済記者となり、やがて政治記者となつたのである。

保守合意前田吉田自由党、鳩山総裁一岸幹事長のものでの日本民主党、保守合意のあと日本自由民主党現在の自民党と政变に応じて担当、政治の表は勿論、裏舞台や政策、人事について書きまくってきたのである。

鳩山内閣時代の副総理といわれた故河野一郎氏（現河野官房長官の父親）の側近記者の一人として信頼され、『政治家になる気はないか』と盛んに誘われたこともあつた。

さらに池田内閣時代には故大平正芳氏が官房長官であつたた

め、首相官邸記者クラブの常任幹事だった私はより一層接触する

七月着工決まる。

会員負担は一億円

明柔会は平成三年四月、総会において目黒合宿所の再建を決定した。以来、計画の承認と事業への参入を大学側に申し入れてきましたが、平成五年一月、理事会承認の運びとなり、大学の資金参加も決定した。

計画がスタートしてから満二年ぶりの具体化となつたが、この間の経過を簡単に述べてみたい。

明柔会は目黒、八幡山合宿所の老朽化にともない、平成一年に調査部会を設け、神永昭夫、福田一郎、杉原構、高田誠之助、浜本義典、入江秀明らの幹事が中心となり専門家をまじえて調査にあつた。

その結果、破損状態から推して改修は不可能、新築の他なし、との結論に達し、翌三年に合宿所建設委員会（会長、姿範雄明柔会会長）が設立された。委員会は総会の承認を得て、工事計画を作成し、大学との折衝に入った。明柔会の申し入れに対し大学側は基本的に合宿所の再建は認めながらも、学内事情から今日まで具体的な動きを見せず、昨年の理事会再編にともない事態が進展し今日の決定となつた。

明大大学柔道部合宿所再建趣意

に対する拠金活動に入っているが、経済不況の折からきびしい展開が予測されるが、母校である全国明柔会会員の團結で事態を乗り切る以外途はない。

尚、趣意書、拠金手続、設計略図などの書類は三月十二日付けで発送されているので会報での掲載は省く。

明大大学柔道部合宿所再建趣意

明治大学柔道部は創立八七年を迎える我が国学生スポーツ界屈指の名門であります。有為の人材を社会に送り出してきた部の歴史は我々関係者の大きな誇りです。

近年、柔道の国際化は目ざましく、世界柔道連盟（I.J.F.）加盟国は一五三ヶ国、柔道はオリムピックの主要競技となりました。その中には、東京・神田駿河台にある明大道場はオリンピック、世界選手権大会のチャニビオンが最も多く出ている道場として海外にまで知られる存在です。

O.B吉田秀彦、小川直也らの活躍は記憶に新しいところですが、現役学生も一昨年、昨年と連続優勝を遂げ、学生優勝大会の最多優勝回数を更新中です。

国際化が進むなかで、本日本柔道の基盤を成す学生柔道の存在は大きく、我々責務の重さを痛感しています。

さて、この度柔道部O.Bの組織明柔会は合宿所の再建事業に着手いたしました。

年月日

明柔会合宿所建設委員会柔道部
明柔会会長

姿 節雄

決定の大筋は、総工費（二億五千万円）のうち大学三分の一「明柔会の二」負担。工事は大学側のギャランティで着工する。

（七月着工、三月完成）明柔会の返済期間は着工から二年以内。拠金は大学への寄附あつかかる。設計などに基き税対策が出てくる。設計など工事に関する部分は明柔会の要望通りに行う。

懸案の合宿所建設が漸く具体化したが、明柔会は大学に対しこれを確保することはO.Bの責任です。我々は事態解決を自らして大学との折衝を重ねてきましたが、二月の理事会で承認の運びとなりました。

拠金の責任分担は、大学三分の一、明柔会三分の二であります。（総工費一二〇〇〇万円、大学四〇〇〇万円、明柔会八〇〇〇万円、工期、本年七月着工、明年三月完成）以上での決定を受けて明柔会は早速全国のO.B組織を中心に拠金活動に入りました。

景気不況の折、皆様には何かと御苦労されていることと承知しておりますが、明治大学柔道部に対する支援がひいては日本文化の発展に関わるものとの認識にたれ格別の御理解と御協力をお願いする次第であります。



現合宿所の破損状態 あと一年の“シンボウ”

委 員 篠原 一雄 (34)
大村 至 (34)
関口 耕二 (34)
渡辺 邦雄 (34)
鳴海 誠一 (35)
小林 真二 (35)
小林 忠吉 (35)
小田原徳明 (35)
金城 孝治 (35)
田中 章雄 (36)
高田誠之助 (36)
畠田 道夫 (36)
木下 征彦 (36)
渋谷 正久 (36)
佐藤 栄吾 (36)
佐々木義宜 (36)
塙崎 英一 (36)
神永 正夫 (36)
朝田 紀明 (37)
田村 興靖 (37)
村木 晃 (37)
杉原 構 (37)
山崎 忠男 (37)
栗原 英道 (37)
大國 伸夫 (37)
町山 良行 (37)
石本 義明 (37)
上田 隆三 (38)
鈴木 紀一 (38)
佐藤 幸二 (38)
細川 治 (38)
大村 勝利 (38)
菅谷 邦正 (38)
関 勝治 (39)
坂口 征二 (39)
飛鳥 義絃 (39)
渡辺 昌照 (39)
飯田 弘昌 (39)
山本 忠夫 (39)
村井 正芳 (39)

中谷 雄英 (39)
鳥海又五郎 (39)
上野 武則 (40)
佐々木 満 (40)
坂本 謙正 (40)
中島今朝光 (40)
山本 裕洋 (41)
佐々木充行 (41)
古浜 晴永 (41)
渡辺 公雄 (41)
高瀬 政一 (42)
北瀬 晓一 (42)
小村 和紀 (42)
佐藤 誠三 (42)
中野 一郎 (42)
齊田 英文 (42)
大久保利昭 (42)
篠巻 政利 (43)
太田 正人 (43)
安斎 泰人 (43)
南日 和郎 (43)
須磨 周司 (44)
宮崎 照満 (44)
代田 正俊 (44)
中島 平人 (44)
村上 京杉 (44)
星野 泰之 (44)
国安 均 (45)
橋本 一郎 (45)
西村 良之 (45)
石橋 広一 (46)
鈴木 強 (46)
星野ひろ (46)
村上 春樹 (47)
鮫島 俊隆 (47)
川口 孝夫 (47)
重松 義成 (47)
吉井 敏吉 (47)
吉永 浩二 (48)
加藤木祐司 (48)

鳴海又八郎 (48)
松田 幸次 (48)
安田 銀台 (48)
原 吉実 (49)
千葉 剛 (49)
飯塚 明 (50)
丸谷 武久 (50)
田中 弘一 (50)
稻田 寿郎 (50)
小野瀬雅幸 (50)
岡本 裕治 (51)
浜本 義典 (51)
松岡 孝烈 (51)
水嶋 和則 (52)
清水 敏雄 (52)
段上 道夫 (52)
諏訪 剛 (52)
井上 恵夫 (52)
入江 秀明 (53)
山内 鉄生 (53)
佐藤 英彦 (53)
清崎 威朗 (54)
松村 孝明 (54)
栗原三千男 (54)
安川 寛道 (55)
藤原 敏生 (55)
一沢 秀明 (56)
植田 茂 (56)
重松 裕之 (57)
吉田 尚生 (57)
千葉 宏之 (58)
日田 孝志 (59)
齊藤 峰章 (59)
新藤 久司 (60)
新垣 修 (61)
渡辺 英明 (62)
小林 誉 (63)
小川 直也 (H1)

明柔会合宿所建設委員会

| 顧 問 | 百瀬 恵夫 (政経学部部長柔道部長) 高橋 喜久 (元大学理事) | 氏 名 (卒年) | 氏 名 (卒年) | 氏 名 (卒年) |
|---------|-------------------------------------|-------------|-------------|----------|
| 委 員 長 | 姿 節雄 (16) | 湯浅 政一 (42) | 小川登志雄 (33) | |
| 副 委 員 長 | 神田 和夫 (26) | 村井 正芳 (39) | 畠田 道夫 (36) | |
| 実行委員長 | 神永 昭夫 (33) | 坂口 征二 (39) | 大国 伸夫 (37) | |
| 委 員 員 | 杉原 構 (37) | 中島 平人 (44) | 鳴海 誠一 (35) | |
| 事 務 局 長 | 関 勝治 (39) | 伊藤 義一 (30) | 中野 一郎 (42) | |
| 財務委員長 | 篠巻 政利 (43) | 北瀬 晓一 (42) | 山内 鉄生 (53) | |
| 委 員 員 | 上村 春樹 (47) | 水野苗次郎 (25) | 藤原 敏生 (53) | |
| 渡 辺 | 原 吉実 (49) | 宮下 光男 (27) | 吉田 尚生 (57) | |
| | 渡辺 欣嗣 (29) | 伊沢 潔 (27) | 千葉 宏之 (58) | |
| | 押 切 義春 (29) | 高田 喜之 (30) | 朝飛 大 (59) | |
| | 小林 敏邦 (33) | 福田 二朗 (33) | 小野瀬雅幸 (50) | |
| | 田中 章雄 (36) | 丸山 彰治 (31) | 鳥海又五郎 (39) | |
| | 今 松夫 (29) | 野田健次郎 (32) | 野田 健次 (32) | |
| | 福 田 二朗 (33) | 高田誠之助 (36) | 代田 正俊 (44) | |
| | 鳥海又五郎 (39) | 小林 敏邦 (33) | 浜本 義典 (51) | |
| | 杉原 構 (37) | 杉原 構 (37) | 入江 秀明 (37) | |
| | 渡 辺 正雄 (29) | 百瀬 恵夫 (32) | 渡 辺 欣嗣 (29) | |
| | 法 丸 保晴 (14) | 山 尾 英三 (29) | 藤井 洋二 (32) | |
| | 宮 島 竜治 (15) | 今 松夫 (29) | 塙本 勝人 (32) | |
| | 姿 節雄 (16) | 岩崎 勇 (29) | 野田健次郎 (32) | |
| | 小 宮 良平 (16) | 工藤 欣一 (29) | 中田 健次 (32) | |
| | 三 船 芳郎 (18) | 渡 辺 政雄 (29) | 神永 昭夫 (33) | |
| | 山 口 吉暉 (18) | 高田 喜之 (30) | 小川登志雄 (33) | |
| | 川 口 一郎 (18) | 松岡 義隆 (30) | 甲斐 福男 (33) | |
| | 山 肩 敏美 (20) | 伊藤 義一 (30) | 福田 二朗 (33) | |
| | 山 崎 昌徳 (23) | 長田 万蔵 (30) | 伊藤 彰朗 (33) | |
| | 水野留次郎 (24) | 丸山 彰治 (31) | 鈴木 実 (33) | |
| | 神 田 和夫 (26) | 滝 本 滿治 (31) | 小林 敏邦 (33) | |
| | 須 藤 重男 (27) | 五 島 光 (31) | 宮下 潔 (33) | |
| | 伊 澤 潔 (27) | 杉 山 澄雄 (31) | 金 丸 國一 (34) | |
| | 宮 下 光男 (27) | 兼 定 正明 (32) | 大 橋 武彦 (34) | |
| | 押 切 芳春 (29) | 酒 井 正雄 (32) | 立 花 敏明 (34) | |

野球や大相撲のプロから、マラソンや柔道、そしてラグビーまで外国人選手の急増で日本スポーツ界は本格的な国際化時代を迎えた。ジャパンマネーを頼って、改革

開国に揺れるスポーツ界

後の東南アジア、アフリカなどからの米日本ラッシュはとどまらずもない。高校大会への外国人学校の参加問題も迫る。伝統を揺るがす「黒船」にどう対応するか。

文化と伝統守るべきだ

遺稿

受け入れは見識持つて

全日本柔道連盟専務理事 神永昭夫

柔道は明治時代から、国際化の種をもつてきただ。

国際大会は一九五六年から世界選手権が始まり、第三回大会で初めて外国人選手のヘーリング（オランダ）が優勝。さらに四年の東京大会でオリンピック競技がなるとともに、やはりヘーリングが無差別級で私を破って金メダルを獲得した。外国人選手たちに「柔道は日本だけのスポーツではない。我々も勝てる」と夢を与える、大きな転機となつた。

国際柔道連盟は、外国の要望を入れながら国際ルールを変えていき、階級制の拡大やポイント制などの合理化を進めた。その結果、礼節を重視し、一本勝ちを大切にする

日本柔道の本来のものではなくなつてきている。

国際柔道連盟規約には「嘉納義五郎が創したもの柔道とする」とあるが、外國の力に押し切られて、このまでのいかがとうかといふ反省があり、日本はジレンマに立たされている。

たとえば、場外を示す赤いタタミの使用は、スポーツの合理性を追求する外國の発想から生まれたものだ。今、それがさらにつれて、白と青のカラ柔道着の使用が提案されている。勝負をわかりやすくするということなのだが、白い柔道着に美しさを感じる日本文化観が柔道から消えることは認めがたい。

どう各国に理解を求めていくかに頭を痛めている。「柔道は日本のものだ」と一方的に宣言することはできない。各国にもそれなりの柔道の歴史があるからだ。

日本では伝統を重んじて、国際ルールとは別に国内ルールを定



日本選手権は日本人で

日本では女子柔道への取組みが遅れたため、実業団大会で勝つために、旧ソ連や中国などから外国人選手を招いているチームがいる。

少なはない。今後は男子も外国人選手が増えるだろう。しかし、男女とも、外国人選手は日本選手権には出場できない。日本国籍を条件にしているからだ。条件を変えるべきだという意見もあるだろうが、日本選手権は日本人で争うべきものだと考へている。

それだけの歴史と伝統があり、日本文化の象徴でもある。天皇杯や皇后杯が外国にもつていかれてもいいのかという考え方だつてある。

外国人選手を積極的に受け入れる必要はあるが、競技団体が見識を持つて、日本でのルールをきちんと示し、納得させるべきなのだ。

外国人選手が出場できる大会を増やすことは重要なが、すべてをオーブンにする必要はないと思う。日本文化を大切にすることも重要なことなのだ。競技の本来の姿での发展を願うなら、無責任な国際化を進めることはできない。

最近は日本人同士の試合でも礼法ができるいいケースが増えている。礼法とは相手の人格に敬意払い、終わったら感謝を込めて、ありがとうございましたの気持ちを示すことだ。

教育的価値見直しを

柔道には「自他共榮」という言葉があるが、それこそが国際交

外国人 積極的に招こう

あり、積極的に外国人コーチや選手を招くべきだ。外国人選手が活躍しだすると日本スポーツがダメになるといった意見もあるようだが、それは低いレベルで満足しようという考え方だ。

日本のトップの地位が外国人に奪われたり、ボーリングゲームで主力が外国人によって占められて日本選手が育たない心配する向きもあるようだが、それは一時的のことであり、目標を高く持った場合は違う。

外国人の優秀なプレーは日本人の先進性のあるものを感じる努力や能力に優れているからだ。強いライバルが近くにいてこそ、競争に強くなるものだ。日本人に最高のレベルの者がいなか

う。朝鮮高等学校の全国高校体育連盟への加盟を促すように高校生が訴えに来たことがあつたが、その高校生たちは「簡単には負け



高野連も姿勢を変えた

たとえば甲子園野球は高校グループの大企として、同世代の高校生以外の若者を排除してきた。よつやく日本高校野球連盟は姿勢を変え、さらには全国高校体育連盟もこれについて検討することになった。

しかし、競争心の加熱化や国家意識の高揚に利用されるなどの心配はある。一気に解決とはいかないかもしれないが、外国人選手数の制限もあくまで過渡期の手段としてこれら、スマーズに外国人選手を受け入れる土壤を作つて、制限を撤廃するべきである。

日本のスポーツは、外国から学び、吸収し、発展させてきた歴史がある。かつては日本人が遠く出かけて行つて学ばなければならなかった。今では、外国人のトップコーチや選手が日本に来ててくれるようになった。経済的に外国の一流選手を迎える土壤が育つた。国際試合が多くなって、有力選手が、調整のための練習しかできない。激しい国際化による混乱の一つだと思ふ。

また、メダリストに褒賞金を出すシステムを歐米にならつて日本でも導入したが、日本は社員としてスポーツを続けている選手が多いだけに、現場で混乱が起こらないか心配である。

上司や同僚の支援のもとで、試合や合宿に臨んでいるわけだが、別にお金をもらつてはならないとなると、はたして会社での人間関係が

優秀なプレーは栄養に

日本ウェイトリフティング協会副会长 林 克也

日本は、外國から学び、吸収し、発展させてきた歴史がある。かつては日本人が遠く出かけて行つて学ばなければならなかった。今では、外国人のトップコーチや選手が日本に来てくれるようになった。経済的に外国の一流選手を迎える土壤が育つた。

日本は、幸せだと思います。これから、さらに外国人コーチや選手が、国内のさまざまな競技のいろいろな分野で活躍するようになるだろう。オリンピックなどに向けた日本の競技力向上という点からみて、これは好機です。

神永昭夫
全日本柔道連盟専務理事、JOC理事、バルセロナ五輪・JOC本部役員、新日鉄参考、明柔三年度

うまくいかないか企業スポーツの衰退につながつてはならないと思ふからだ。

ただ単に報奨金を出すというのではなく、日本の現状にあった出し方を考えるべきだ。国際的に右へならでははうまくいかないと思うのだ。

日本スポーツ界のリーダーたちが日本の伝統を踏まえ、見識と信念を持って、外国人選手やコーチたちに日本文化の理解を求めるながら正しく導くことこそ、混乱のない眞の国際化につながると思ふ。

大学ではスポーツだけで入学させる移入選手の問題があるが、それは大学のあり方の問題だ。大学スポーツは学問との両立が当然で、それがなくては大学の使命が損なわれる。

実業団の競技では公平のルールで外国人選手を制限しているようだが、それは日本のレベルがまだ低いことを意味しているのだと思う。

わが国のトップは企業スポーツが支えている現状だから、欧米のクラブやプロに対抗し世界のトップスポーツと競る担い手として成長して欲しいものである。

米国では、外国人選手を積極的に受け入れ、アメリカ・スポーツ文化を発展させてきている。日本で働き、学び、生活する選手やコーチたちに対する壁はすべて取り払うべきで、それが日本のスポーツ文化を高めることに通じるとと思う。

人気を高めるのに一役

外国人選手が上位を占めると国内の人気がなくなるという見方があるが、実際はそうではない。プロ野球は外国人スタッフガーネームランが魅力で人気を高めだし、大相撲だって小錦や曙など多くの外国人が活躍して盛り上がっている。サッカーも大物外国人選手がリードし、三浦知良選手のような外国で技術を身につけた選手が活躍している。外国人選手が見せるスポーツの魅力を作ってくれていると言つてもいい。

しかも、外国人選手たちは、慣れない日本式食生活や日本のなしきたり、そして日本のスポーツ風土にストレスがたまりながら

も圧倒的な力を見せていているのだ。そのすごさに学ぶべきで、日本の方を尊重するなどといつまでも言つていては国際化にならない。外国人選手やコーチが多く入ってきたら、日本式のルールも組織も壊れてしまうといった村意識が日本スポーツ界に強いのも問題だ。

伝統を守るというその論理が、世界で通用する論理なのかどうかを考えるべきだ。

伝統的な武道などを継承、保存することは重要だが、国際的な競技力向上という面からすれば別次元で考えるべきものである。外国人が日本のスポーツにも関心を持つてきた時期にあることを十分に認識し、できるだけオープンにすることが日本のトップスポーツの改革につながると思う。

はや・かつや

1934年、浦和市生まれ。56年日大卒、70年日大講師、85年教授。重量挙げの指導者で68年メキシコ五輪コーチ、72年ミュンヘン五輪監督。77年日本ウェイトリフティング協会専務理事、89年同副会長。日本体育協会理事を兼務し91年から日本オリンピック委員会専務理事として、五輪日本選手団を物心両面でリード。

東京都中央卸売市場大田市場
海老・練製品・塩干加工品問屋

海老晃

代表取締役 滝本満治
(S.31年度)

東京都大田区東海3丁目2番8号
TEL 5492-6307
FAX 5492-6308
自宅 東京都大田区山王3丁目18番3号
TEL 3778-2057
FAX 3778-3590

FASHION SHORTS PILOT HOUSE

株式会社 アイリス

代表取締役 佐々木充行
(41年度卒)

東京 宮 〒103 東京都中央区日本橋久松町13-5
和季第6ビル5F
TEL (03) 3667-1666番
テレファックス (03) 3667-1668番
本社 〒779-36 徳島県美馬郡阿南町大字阿南6802番
TEL (08835) 2-1138番
大阪 宮 〒541 大阪市東区安土町1-22-1
プライムビル3F-302 4F-402
TEL (06) 264-6285番(直通) 06



オーケーシャン株式会社

大 国 伸 夫

東京 : 〒111 東京都台東区浅草6-22-13
TEL 03(875)2851

大阪 : 〒540 大阪市東区靄森町1-37
TEL 06(945)0920

広島 : 〒733 広島市西区人道町13-23
TEL 082(91)0092

パリ : パリ市8区、フォーブルサントノレ通り9番地
TEL (265) 2906

泉屋の

かみいり
息生の味

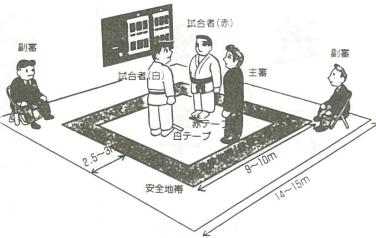
おりづけて50年 お好みの総合メーカー

株式会社 泉屋製菓總本舗
名古屋

「33年度卒 伊藤彰朗」



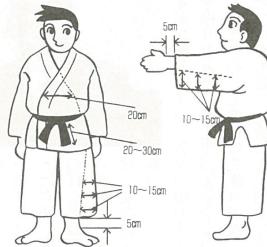
①試合場



②試合時間

男子は全て5分間、女子は全て4分間。
主審の次の様な宣告の間は試合時間から除かれる。
「まて」から「はじめ」、「そのまま」から「よし」。

③柔衣のサイズ

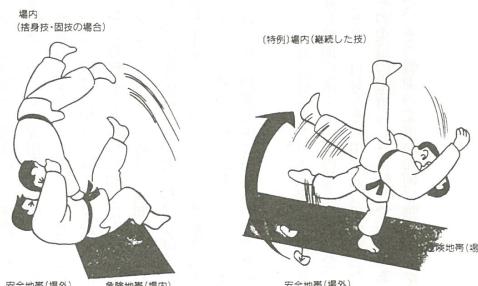


④試合の開始と終了

試合は主審の「はじめ」の宣告で立ち勝負から開始され、「一本」又は同等のもので勝敗が決まるか、試合時間が終了したときに「それまで」の宣告で終了する。

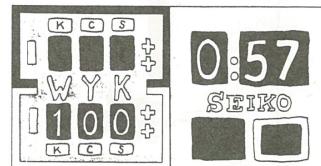
⑤試合の場所

試合は試合場内で行うものとする。立ち姿勢においては試合者の足、手、膝の片側でも試合場外に出たとき、又は捨身技及び寝技においては、試合者の半身以上が試合場外に出たとき、その試合者は場外にあるとみなされる。特例として試合者的一方が手を試合場外に投げた場合、手を投げた試合者が勝の効果があるまで試合場外に試合場内にとどまっているときは、その技は有効とする。また、試合場内で技を掛けられ、その後技を掛けられていた試合者が試合場外へ出たとしても、手を掛けた試合者が試合場内にとどまっている、その技の動作が继续している技の効果が認められたときは、その技は有効である。」「抑え込み」が宣告された場合、「抑え込み」が終了するか「解けた」が宣告されるまで、試合者の一方の身体の一部が試合場内の上に触れていた限り、試合は継続しているものとする。



⑥スコアボードの見方

- ①赤の試合者の「効果」ポイント2つ、白の試合者の「技あり」ポイント1つが数字で表示される。
- ②白の試合者の反則ポイント「注意」が表示灯により示され、ただちに



全柔連から

I J F ルール解説

昨年のオリンピックに続き本年は世界選手権大会がアメリカで開催される。今号では全柔連から資料を得て I J F (国際柔道連盟) ルールの解説を掲載することにした。国内ルールとの部分的違いを知っておきたい。「資料は嘉納杯国際柔道大会、監修竹内善徳全柔道審判部長から」

①無負の判定 技投と固技で勝敗を競う。

| 一本勝ち | 優勢勝ち | | | 判定 |
|---|---|---|---|-------------------------------------|
| | 技あり | 有効 | 効果 | |
| 相手を制しながら腰を大きく量にき、強さと速さをもって投げたとき。 | 相手を制しながら腰を小さく量にき、その技が一本に必要なものにつき足りないときに必要最低限の腰の裏の腰うつしが部分的に不足するとき。 | 相手を制しながら腰を強さと速さをもって投げたとき。 | 相手を制しながら腰を強さと速さをもって投げたとき。 | 優少の差の場合の優勝。(試合中の態度、技の巧さ、技の効率等を総合判断) |
| 相手が手又は足で2度以上のたいていとこ、又は「マッタ」と言ったとき。 算えたみ技で30秒間おさえきったとき。 | 相手が手又は足で2度以上のたいていとこ、又は「マッタ」と言ったとき。 算えたみ技で30秒間おさえきったとき。 | 相手が手又は足で2度以上のたいていとこ、又は「マッタ」と言ったとき。 算えたみ技で30秒間おさえきったとき。 | 相手が手又は足で2度以上のたいていとこ、又は「マッタ」と言ったとき。 算えたみ技で30秒間おさえきったとき。 | 優少の差の場合の優勝。(試合中の態度、技の巧さ、技の効率等を総合判断) |
| 一本 | 25秒 | 20秒 | 10秒 | 「抑え込み」の場合 |

- ※一本での判定……不競勝ち、裏獲勝ち、総合勝ち、技則負け。
※[技あり] 2つで「一本」になるが、「有効」はいくつあっても「技あり」とはならない。
「[効果]」がいくつあっても「有効」とはならない。

②不正事項と罰則

| 指導(効果と両等) | 注意(効果と両等) | 警告(技ありと両等) | 反則処置(一本と両等) |
|--------------------------------|--------------------------------|---|---|
| 絶然な違反を犯した場合。 | 少し重い違反を犯した場合。 「指導」+「指導」の場合。 | 少し重いタイプの重大な違反を犯した場合。 「指導」+「指導」の場合。 「注意」+「指導」の場合。 「注意」+「注意」の場合。 | 判則に重いターゲットでかなり重大な違反を犯した場合。 「警告」+「指導」の場合。 「警告」+「注意」の場合。 「警告」+「警告」の場合。 |
| (写) | (写) | (写) | (写) |
| 立柔勢において攻撃しないで、両手で同じ方向の腰を握り扱うこと | 立柔勢において攻撃しないで、両手で同じ方向の腰を握り扱うこと | 立柔勢で場外に出ること | 肘開放以外をとること |
| 二名林立位で横浜市町村柔道姿勢をとること | 二名林立位で横浜市町村柔道姿勢をとること | 立柔勢からいきなり寝技に引き込むこと | 弘腰勢をかけられたとき、相手の支え足を内側からあらわしたり払すこと |
| 安全地帯(場外) | 安全地帯(場外) | 安全地帯(場外) | 頭から顎に突っこみながら内腹、弘腰等をかけること |
| 危険地帯(場内) | 危険地帯(場内) | 危険地帯(場内) | 固い物質または、金属の刃物を身につけること |

③自負した場合

- 技なし判定……試合者自身で投棄。
- 医者の診断……2回まで許されると、3回目は比較的でなく、必ずその試合者の負けとなる。
- 既者の治療……比較的でなく、その際に他の者の責任となる。但し、相手に治療の責任がある場合は、見てある。

戦前の柔道に学ばう

27年卒 門屋 賢悟



(原稿到着順)

近況



40年前に遡りますが、我々の頃の第一回大会を振り返ると、諸先生諸先輩がこの日あることを心して他校に先駆け着々と準備されていたお陰で、他校を圧倒しての優勝でした。このあともこの優勝を続けられることが願っていたが連続優勝が跡切れる時期は案外早くきたなと思った。

一昨年の優勝するまでは徐々に実力が備わっていく様子は会報により感じていましたが、東海大の優位の中でもや優勝することは本当に嬉しい優勝でした。

我々の頃は、学生柔道のレベルは低く、社会人柔道との格差は歴然としていた。私が4年の27年、全日本出場の為、試合前の調整で吉松さんが、明大道場を訪ねました。その時私自身もぶつかっていましたが、学生No.1の曾根君との乱取りでは吉松さんは曾根君の両脇をもつて得意の左右の払腰で、とても簡単にスイスイと投げ分けていたが、その強さは格違いで、練習のあの群雄割拠の状態での優勝は大変な快挙でした。

吉松さんの言では曾根君を気づかい、曾根君が長身で姿勢がよく掛けいいんだといつていた。因に吉松さんはこの年優勝した。その曾根君が6年後の83年に全日本のチャンピオンになった時は、同期としての嬉びと、学生時代の曾根君の様子が脳裏から脱却出来ないでいたので、その驚きは大変なもので、優勝を知った時は、一旦帰宅していたが、仲間と街に繰り出し祝金を交わしました。

私の修業時代、全日本大会、予選会等を通し戦前の選手の活躍模様を見る機会にめぐまれ、自身もその中に入つて体験したがその柔道の素晴らしさに憧れで一杯であつた。その戦前の柔道が如何に強かつたかと

修業にあたつて十分環境は整つて来ている様に思うので、もう一度戦前の柔道はどうあつたのか考えることも必要かと思う。戦前の柔道の素晴らしさは多分に時代背景が関与しており、現在の様に柔道も国際化し客観情勢は異り難しさはあると思うが、戦前の柔道の強さは勿論のこと、より個性的で、柔道の深み、技の切れ味を学びたい。

最後に礼法について、言いたいことは、礼法が乱れていることです。特に国際大会がひどく外国人には礼法の本来の意味を理解せることは難しいものと思う、テレビでの影響は大きいので国内の学生大会では全国の少年や若い修業者の手本となる様な立派な礼法を示してほしい。ご健斗をお祈りいたします。

私は学生時代、足の草鞋で、レスリングも選手としてもやつてきたが、レスリングのビック大会をテレビ観戦していく思うことは、当時からみると脅威的な進歩してきており、柔道はどうかなと思うと、満足できるといっている。

一九九二年の夏・はじめてのヨーロッパ旅行

森 幸夫



のですが、今年の夏はこれらに加えて二つの行事が入り、例年に増して充実した夏休みを過ごすことができました。

私も久我山高校に勤務して二十年たち、学校より海外研修旅行に参加させていただいたことと、日本ニューカレドニア協会の後援を得て、國學院大學の平沼正治柔道七段の指導のもと、教育の昭和第一学園高等学校教員の藤田輝之とともに、柔道を習つてゐる子どもたちと一緒に、ハイタ国際柔道大会に参加したことです。(私のところではこれが三回目の参加です)。

今回日本を長く空けるに当たつて、柔道部員のことが心配でした。彼らでは柔道の夏合宿は、毎年、必ずあります。そのため練習もしなければならず、そのためですが、結局柔道部員と相談しながら何と

かやつてみようということにしました。普段「体力だけには自信がある」と言つてゐる私ですが、さすがに今回の夏のスケジュールには、心配になりました。「疲れた」と連発しているは周囲の者がおもしろくないだろうし、年頃の息子たちを女房まかせにしておくのも心配でした。といったまゝな訳で、あれやこれやありましたが、はじめてのヨーロッパ旅行に出発しました。

今回のヨーロッパ行きのメンバーは、国分、武舎・森の三人でした。JT-Bの「ロマンディッシュ・スイス」とヨーロッパ縦断りに参加、七月二十六日に成田を飛び立ちました。十二時間の飛行の後、ますロンドンに到着しました。

その日は、ただ寝ただけで、翌日ロンドン市内観光。ウェストミンスター寺院・バッキンガム宮殿等、日本の絵はがきでよく見る有名な箇所を見学しました。一日半滞在したイギリスは、ガードブックの受け壳りのようですが、伝統を重んじる気質、そして古さを継承していく頃回さが、古い建物等をみているうちに感じられました。ロンドンからチューリッヒ経由でローマ

ベルンに着いて、皆で夕食を食べに行く途中、ある建物の中で柔道の練習をしていました。私は仕事が忙になつたので、レストランでは夕食に出されたビールを一杯だけ飲み、そこに戻りました。その指導者は練習させて欲しいと申し出たところ、一緒にやろうということになり、急いでホテルに戻り、柔道着はなかったのですが作務衣を持って来ていたのでこれを持って駆けつけました。はじめのうちは挑戦的だった指導者も体落とし・大内刈り等の技で柔道を落取るをするうち、私が彼よりも強いと分かつた上で、練習が終わって整理する時には私が先生席に座らされました。その後、「三の技を指導した後、食事を済ませたツアーコンが見学に来たので、そこにいた皆で写真を撮りました。『芸術を助ける』ではないのですが言葉の通じない相手と柔道を通して親しなり、仲間意識を持てるから不思議です。ただ私は普段飲まないビールを先腹に一杯飲んでしまったがために、いつもより早く息が上がりてしまい少し苦しかったのがざんねんでしたが…。

こんなことをして過ごしているうちに夜になり、久我山高校のレスリング部出身の佐藤卓君（現・久我山高校教員誠博の弟）が来てくださいました。今回の旅行に行くと決めたときから私は彼に会いあちらこちらを案内してもらうこと楽しみにしていました。彼は、現在フランスアルザス成城学園校の教員ですが、わざわざフランスから二時間半をかけて国境を越えて来てくれたのです。彼からラングフラウヨッホの観光を勧められ、富士山より高い三四五メートルをトロッコみみたいに小さい登山電車で登りました。雄大な景色を見て、感動しました。その後、國分・武舎・森の三人は、ツアーコン間から離れ、アルザスの佐藤邸に向かいました。その間古城や博物館を案内してもらい、アルザスの牧歌的などかさの中にあるアルザス成城学園も見学しました。そこは以前修道院だったそうです。加藤一郎元東大卒がヨーロッパに活躍する子弟教育のために作られた学校で、現在生徒数は百四十人位いるそうです。彼は三年間の予定でアルザスに来ています。地元にとけ込む

に入る途中、チューリッヒの空港で、バルセロナオリンピック参加のマラソンの旭化成監督に会いました。私は、「がんばってください」と声をかけたのですが、ロンドンで選手たちが調整していたのです。

ローマに入った途端、猛暑で四十度近くあつたような気がします。コロッセオ・サンピエトロ寺院などを見学し、翌日ナポリ・ポンペイに行きました。ここは、私は行前から関心をもっていたところなので、また、添乗員から再三持ち物に気をつけようと言わされたのもこの国でした。

次にミュンヘンに行きました。バスでノイシュバンシュタイン城と市内観光。ここで道路の広さ、スピード制限がないところから関心をもつていたところなので、また、添乗員から再三持ち物に気をつけようと言わされたのもこの国でした。

這次は、遺跡には庄倒され、ポンペイの歴史本とか、コイン等の品々をたくさん買いました。街に関しては、遺跡と同居しているといった感じで、ミケランジェロ・ブランチ・ラファエロといった偉大な芸術家が活躍した場であるということがよくわかりました。道を歩けばそちら中には作品があります。でも道にはゴミが落ちているし、全体としてきたない感じました。バチカン市国宮殿は博物館となつていて、その展示物の量・中身とも「すごい」さすがキリスト教の国だ。の一言でした。壁に描かれた宗教画の規模の大きさに私たちには圧倒されてしまうのですが、それ

ために、柔道三段である彼は本人・子供に柔道を指導中だそうですね。

佐藤郎では、教師・教え子ということも忘れ、酒を酌み交わしました。口あたりがよくなり、また勧めかたも上手なので、国分と佐藤はよく飲み、ふだんは飲まない武舎・森の二人もワインとシャンパンに心地よく酔いました。肉食に飽きていたわれわれは、そばや寿司などの日本食をこちそうになり満足しました。翌日、ストラスブールを案内してもらひ、そこから急行列車はパリに戻り、皆に合流しました。

翌日はパリ市内観光でしたが、厚かったです。ヨーロッパ全体が今年は異常気象だといつてました。夕食は、正装でセーヌ川を下りながらということでのうなものがどうかと期待していたのですが、私は旅の疲れがでたのか、さほど楽しめるものではありませんでした。もつたないことが多いようにつき、ブランド物目当ての買い物客が多いように思いました。話には聞いていま

したが、旅行者の五分の三は日本人といつた感じです。団体ツアーレーの少年、老人等、実に多くの日本人を見かけました。また、添乗員から聞いた話ですが、日本人は人・出国審査の時など、英語を話せないということでおどおどした印象を相手に与えるので、確かにされているのです。そして最後には、「団体さん、ありがとうございます」といわれるほど先方はこちらのこと分かっているのだそうです。

また私が見てきた範囲で気がついたことです、イタリア・フランスなどでは、車にはほとんどエアコンが入っていないし、店に入つても日本の店のように寒いという感覚はありませんでした。バスも乗車してからエンジンをかけるので、走り出していく少しすず涼しくなるという風でした。不才なシヤンも時間制限があるし、本当に日本との違いを痛感しました。

最終日は、アムステルダム経由で成田に十時半到着しました。このところ飛行機事故が多いので、家族は随分気にしていました。駆け足のヨーロッパ十五日間でしたが、まさに「百聞は一見にしかば」です。

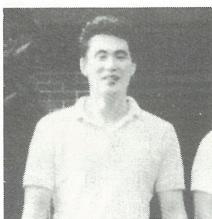
行ってみて、自分の目で見て、肌で空気を感じてみていらうなことがわかるのだと思ひます。

現國學院大學久我山高校教員

(四一年卒)

近況報告

早田 豊



明柔会皆様方に久しく御無沙汰しております。そして、全日本学生優勝大会二連覇おめでとうございます。昨年同様嬉しい限りです。市場の場合は朝が三時八時、八時半の間ラーメンや焼そばを販賣させて宣伝活動の為ほとんど体力と勢いだけ汰してあります。午後からは各スープバーまでとうござります。さて私が明大柔道部卒業し、早いもので五年が過ぎてしまいました。学生時代道場で日々鍛えて頂いた事がつい昨日の様に思え改めて厚く御礼申し上げます。

私は昭和六十三年三月卒業し、同年四月東洋水産㈱に入社致しました。入社後は柔道部に所属し週に二回、一時間程度(学生時代と比べますと話になりませんが)汗を流してまだ実業団の試合に出場しております。仕事の方は、インスタント食品の営業を行っており、担当は生麺、チルド(シュウマイ・餃子)類です。業務内容は、マルちゃん製品の卸売り業です。スープバー、C.V.S. 市場等を相手に日夜頑張っております。市場の場合は朝が三時八時半の間ラーメンや焼そばを販賣させて宣伝活動の為ほとんど体力と勢いだけでやつております。午後からは各スープバーを相手に頭脳プレーですが、営業活動を行つて行く上でも明大柔道部出身という事で大変お世話ををして頂いており、又それ自身誇りであります。ただ在学中試合に出て頂いたのですが、何一つ活躍できなかつた事だけ悔いが残り、又怪我で大変御迷惑をおかけした事等まだ反省するばかりであります。しかし今思えば、合宿や遠征でやしなった基礎体力、人との接し方、礼儀、友人等得たことは本当に多かつたと思いまは知人が多い。

す。

これからは、私自身仕事を一生懸命する事で陰ながら明大柔道部を応援していくつもりです。

最後に、明大柔道部の連覇と、O.B.諸氏の益々のご活躍ご健勝をお祈りし私の近況報告とさせていただきます。

昭和六十三年卒 東洋水産㈱

キヤンベル氏、

米上院議員へ

明大道場練習生

昭和六〇年から四年間明治の道場で練習し東京五輪のメリカ代表となつたベニン、キヤンベル氏がアメリカ上院議員選挙に出馬して当選した。キヤンベル氏はアメリカインデアンで戦後空軍兵士として在日中に講道館で習い帰国後、カルフオルニア、サンノゼ州立大学で日系人コーチの訓練を受け実力を伸ばした。州立大卒業後、再来日し明大道場で修業、この年代のO.B.に作成する動きが国際柔道連盟(IJF)内であることが、IJF理事会で報告された。

柔道も世界ランキング検討

テニスの世界ランキングのように、柔道の世界ランキングを作成する動きが国際柔道連盟(IJF)内であることが、IJF理事会で報告された。

豊かな心で、大きな未来へ。
21世紀へ向って、着実に成長しています。

KINSHO-DO
株式会社 キンショードー

包装用品並びに梱包資材の製造加工

代表取締役 渡辺 欣嗣

本社・工場 東京都北区浮間3丁目5番28号
〒115 電話 (03)3967-9317番(代)
FAX (03)3967-9408番
神田営業所 東京都千代田区三崎町1番112番10号
〒101 電話 (03)3262-4635番

永井佑治君をしのんで

坂井良司

畏友永井佑治君の訃報をきき、「マサカ！」と思われた方が殆どかと思います。

恒例となつてゐる中京地区OB会の新年会が「料亭ながい」で行われ、集まつた多くの友人たちと和氣藹々の時を過ごしたのが一月四日の事とか。――

この席、永井君はニコニコとして皆との語り合いに推進されました。いつも飛び出す得意の警句、舌はこの日に限つてきかれてなかつたそうです。抑えていたたほいながら殆ど杯を口にしなかつたという事ですから何か知らせるものがあつたのでしました。

原因は風邪から肺炎を併発し呼吸困難となりました。後は心不全ということでした。

まことに急なことでしたが、彼の場合、長年患つていた糖尿病による体力の低下があつたことは辞めません。

悲しみの中にも葬儀は



四年生になり、当然のようすにマネージャーに推せんされました。徳永主将とのコンビでこの年は見事に優勝を遂げマネージャーの責任を果たしたのですが、優勝につながった埼玉寄居での合宿、優勝の御褒美の北海道遠征などこの年のマネージャーの仕事は例年になく多忙をきわめました。

合宿では食物の心配、また北海道といえばいままでこそ一飛びですが、あの遠征は上野発急行「みちのく」で出発九時、札幌着は翌日の昼過ぎ、さとと三〇時間の大旅行だったことを思い出します。札幌の合宿は自衛隊真駒内駐屯地ですから勝手はあまり許されません。マネージャーは大変でした。

上野 札幌 夕張—秋田—上野と強行スケジュールのなかで現地とのさまざまな接衝、学生の看視と世話をさりげなくさばいていた永井君のあの笑顔が忘れられません。

卒業後、ボーラ化粧品営業部を経て家業の「料亭ながい」を継ぎ今日に至りましたが、幅広い人間関係を生かして地元愛知、名古屋の発展に様々の分野で貢献していただきています。柔道の関係では、長い間会長として東海明柔会をまとめ、各地明柔会の中でもひときわ結束力の強い支部にづくり上げています。また、出身高校、東海高校柔道部の発展にも大きき尽力していることも知られています。

持糖病による身心のダメージは軽いものではなかつたと思いますがその柄が多くの方に見られるが故につきあはは病の進行と関わりなし統けられたのでしょうか。永井君の面目躍如たるものがありますが、いまにして思えば残念でなりません。

明治大学、東海高校を通じての後輩、伊藤彰朗君（明柔三年度）が指揮をとり愛知明柔会、東海高校柔道部OBなど柔道関係者が中心となつてどこおりなくしかも盛大裡に行われました。

告別式一月七日の式場となつた愛昇殿には多くの会葬者が列

を成して故人の冥福を祈つております。

東京や九州からもかけつけた同期生は皆で永井君の骨をひろい、初七日の法要にも参席しました。人生は無情なり、といまですが永井君と云い、昨年亡くなつた一年後輩の高島君と云い、余りにも早すぎます。遺影を前につくづくと涙した事がありました。法名「西槻院稱慧伝」。

思ひ私、坂井と永井君の出会いは昭和二九年の地下道場でした。この年の新人部員は約七〇名（まもなくその多くが脱落してしまつたが）、もおりましたので、はじめは誰やら解らずにおりましたが、授業に出たところ教室に坊主頭が私の他一人おりました。これが名古屋出身の永井佑治君でした。それ以来、ウマの合う友人として四年間を過ごしました。何かにつけて無我夢中だった一年生の夏、町山君らと名古屋に出て、永井君の家に泊まつて短い夏休みのひと時を思い切りラックスした日のこと、上級生になつてから時々東京の我が家でひそかに麻雀を楽しんだことなど永井君との思い出はつきません。

育ちの良さをつかわせるおだやかで洒脱な彼の性格と言動は、きびしい練習や先輩たちのプレッシャーの中で、つい落ち込んでしまう。仲間の周辺をいつも明るくしてくれたものです。先輩、同輩、後輩とへだてないつき合いを大切にしていた彼は

JIMS
Japan Institute of Management-Labour Science Inc.

川崎支部 支部長
町山 良行 昭和37年度
Yoshiyuki Machiyama

社団法人 経営労働協会
国際事業部
〒107 東京都港区南青山1-4-2 南青山渡辺ビル4F
TEL 03-3423-1592㈹ FAX 03-3423-9279

川崎支部
〒214 川崎市多摩区東生田1-11-15号
TEL 044-932-8010 FAX 044-932-8301

大衆割烹 太洋
橋本 一郎

都営地下鉄三田線 蓮根駅前
TEL (9 6 7) 9 8 6 3



プレッシャーに勝つ

オリンピックや世界選手権大会で柔道は国民から当然のように「V」を要求される。そこで選手には重いプレッシャーがのしかかってくる。

どの種目でも、選手はプレッシャー、精神的な圧迫という内部の敵と闘わなければならぬ。眠れなくなる。下痢をする。精神状態が不安定になる。調子が乱れる。そつした自分をどうやって安定させた鼓舞するか。過去のオリンピックメダリストたちを対象にしたある調査によると解消法は三つあるそうだ。

①十分に練習し自信をもつてのぞむ。②自己暗示を利用する。③平常心を保つ。ソウルオリンピックの時齋藤選手は優勝のあと、「無の心境で、今までやつてきたことをすべて出しきつた」とのべ

た、バルセロナの古賀選手、吉田選手も同じようなコメントだった。

①の例だろ。それには悔いのない練習が前提だ。サラエボ冬季オリンピックの時失敗したスケートの黒岩選手は次のカルガリイに備えて「自分のやるべきことをしつかりやろう、ということだけを考えた。」「あと一週間ですね」「まだ二週間やるべきことがあります。」「あと三日」「まだ三日やるべきことがある」と考え続けたという。そし

て、銅メダルを手にする。

練習の一部として、自らの最善の状態を想像するイメージ訓練も効果がある。②である。黒岩もそうだが、新体操のエースだった山崎選手も徹底していた。ひたすら壁に向い、イメージを描き、精神を集中した。「プレッシャーを励みにする」という人もいる。たとえばスケートの橋本選手「自分が追いこんだところで力を発揮する」といふ。スキーの萩原選手がいつも強気の發

言をするのは、「ラップを吹き自分を追いくんでやる気にして」ため、それにしても最近の若い選手はどんな大きな大会でも一樣にびのびしている。(3)の部類だらうか。きっとこうによると某選手などは、いつもメダルをとった時の「フォーマンスまで考えてるそだ。ここまでくると我々年寄りにとっては嗜好の外となる。

世界のJUDO

「スシ」「テンプラー」「カブキ」「カラテ」など外国でそのまま通用する日本語は多いが、筆頭は「ジユードー」である。

「スシ」の爱好者が海外で急増しているそうだ。欧米人のヘルシー志向の現れだろうが、アメリカのおもな都市での話、諸外国人の嗜好を考えればインターナショナルになるとは思えない。カラキ、「欧米が中心でインテリ階層に知られているだけ。その点「カラテ」は地域に偏らず、しかも各階層に普及している。国によつては柔道と並行して発展している。しかし「カラテ」には様々な理由から柔道のダイナミズムがない。

米流に競技の合理性ばかりを追求しだすとそういうことにならざるを得ない。

いまさら柔道の何たるかについて述べるのは控えるが、柔道が今日に至つたのは他の種目のように、競技として面白さや合理性だけにあつたのではない。

この点について考えを深め行動するのは本家としての義務である。家元だとか権威だとかの問題ではない。頑張れ全柔連!(K)

そこで「ジユードー」だが講道館の創始者嘉納五郎先生の夢は柔道を世界に広めることであった。柔道を海外に発展させることは日本の国技紹介を通じて列国との親善を強くするものである。と先生は考えていた。先生が初めてヨーロッパに渡つたのは、明治二十二年、以後計十三回にわたつて欧米、中国を訪問して柔道の普及に精力をそそがれた。世界柔道連盟の結成も近いという矢先、アメリカからの帰途、永川丸の船士で亡くなられた(余談ながら先日H.K.が先生の業績をドキュメントタッチのドラマにして少年向けの番組で放送しているが、我が意を得たものだつた)。

以後、先生の志をついだ柔道マンの多くが海外に渡り、苦しめて柔道の普及についた。先人たちのこうした努力があって、現在、一五二ヶ国が国際柔道連盟に加盟している。日本伝來の文化を世界のものとした講道館の役割はまことに大きい。

しかし、柔道が国際的になればなるほど本家が絶対的な存在でなくなる。このバタ

祝二連覇
明柔会の皆様の憩の場所
スナック ハイネス

東京都台東区浅草3-28-4
TEL 03-3875-2906

お出の想

思い出の一枚

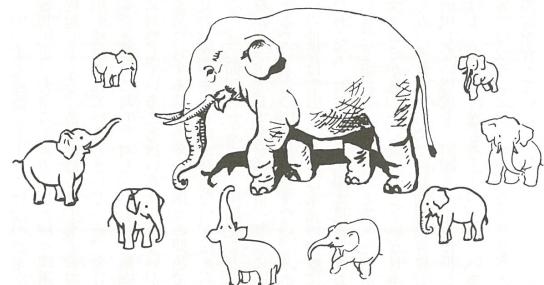
(1)



昭和二年 明治大学柔道部員

広告

強い絆で! BRINGING UP!



後輩に一層の支援を !!
明柔会費納入のお願い

振り込み先
関東地区会員

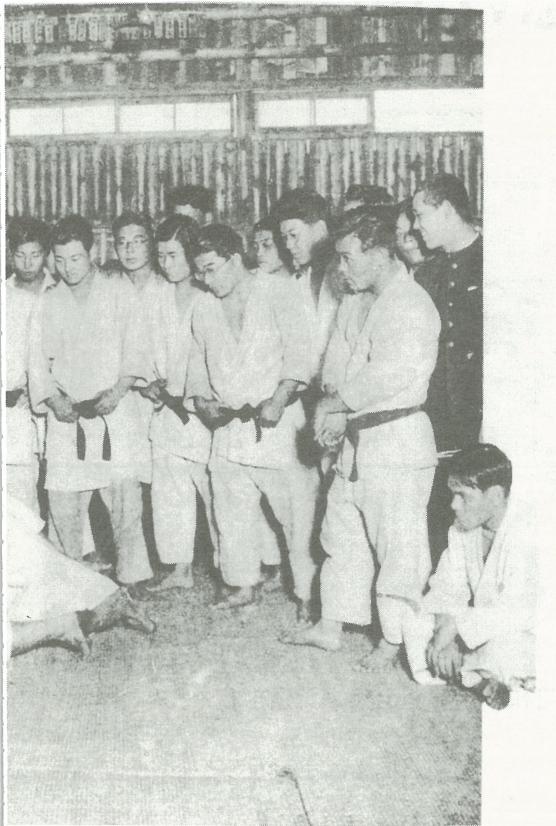
東海銀行東京営業部
店番号 620 普預 432 326
明柔会関東支部 入江秀明

年間二、
〇〇〇円

振り込み先
関東地区以外の会員

三菱銀行鉄鋼ビル支店
店番号 004 普預 4216342
明柔会 吉井敬吉

思い出の一枚 (2)



秀島大介の小内刈

小内刈や大内刈は相手のふところにいかに飛び込むかで技の効果が決る。

大内刈は多少間合いが広くてもケンケンで追むことが出来る。小内刈も同じような攻め方をする者がないではない自身のバランスを崩す危険がともない理づめな攻げきとはいえない。秀島の小内刈は相手の股間にまことにこむように接近して放たれる。

右と、右の相組みには小内掛けぎみになり一本背負、すくい投げに連動する。右のケンカの場合には釣り手をとった瞬間

の技となる。

このふところへ飛び込む技術は間合いで、一言でいえば秀島のこの右は強烈である。

軽妙な足さばきと釣り手の偶力で自分の間合いをつくり一瞬に込み込むのが、七二kgの秀島が倍近い体重の相手とガップり組んで戦えるのは、この黄金の右があるからだろう。重量級にもまれない四〇kgという背筋力の数値をきけば秀島の柔道が納得できる。



嘉納林国際に優勝した秀島



吉田のメダルを支えた 栄養と減量、



理想的メニューと吉田の実行力。

今回の健康のはなしは、吉田秀彦と吉田バイザー青山晴子さんの対談と陸上競技選手団のコンディション作りにあたった小林教官アナウンサー」。

授の競技力向上と栄養の関わりについて、
の御意見を載せてみた。(産経新聞社主催、
健康セミナーから取材 司会フジテレビ松井アナウンサー)。

届きません。

松井 吉田さんの減量プログラムで一番気をつけられた点は。

青山 水分を抑えるために薄味に。脂肪分を抑え、ビタミン、ミネラルはたっぷり、最低限のたんぱく質はとする。食事材料は脂肪分を少なく。私がメニューを考え、調理をされたのは吉田さんが寄宿している新日鉄浜田山寮寮監の松村(蔚子)さんです。

松井 (会場の) 松村さん、お立ちいただけますか。

松村 吉田さんは、最初のうちは食べ足りないふうでしたが、おかゆも残すよになつて、すごい意志だと思いました。青山さんは落ちても、戦うコンディションはつくれませんし、激渴に水分を落とすと血液がねばねばして、スマーズに体の隅々に行き

じやないかと思います。

吉田 おいしかったです。愛情が感じられました(笑い)。体が慣れてきますので、つらくなかった。それにオリンピックという目標がありましたから。

松井 ふだんの吉田さんはどんな生活をしていらっしゃるんでしょう。

松村 そこいらにいる笑い、普通ですよ。子犬のようにかわいくて。ほんとうに金メダルとったのかな思います。

松井 食事の量が少なくて泣いたというようなことはありませんでしたか。

吉田 最初はありましたけれど、どちらか食べたらどのぐらい増えるかわかっていたので、自分で制御しました。疲れていますときは、間食にまんじゅう一個とか入れてもらつて。

青山 あれはだめと言つたつもりはないんだけれど、どういな

吉田 メニューの注文は、ほとんどつけなかつたと思います。

青山 朝はご飯が好きだということで、最

初は、そうしたんですが、だんだん体重が増えてきたので、パンを主食にしました。六枚切り一枚。減量がちょっと停滞した時期は、八枚切りにしました。

吉田 気がつかなかつたな(笑い)。

青山 お母は外食です。

吉田 定食のご飯を半分とか、そういうふうに。

青山 夕食は、松村さんが力を入れて…。夜遅く、食事に誘われるらしいんですが、すべて松村さんに作ってもらつたものといふことで。

吉田 松村さんや青山さんが、すごく協力してくれたことが金メダルにつながつたと思います。

青山 でも本人が食べてくれないとどうにもならない。それを統けた吉田さん自身の気持ちが一番じゃないかななどと思います。

吉田 この笑顔にだまされ(笑い)。

吉田 まあ…。目先のこと気にこだわらず、アトランタを目指して頑張ります。(拍手)

青山ええ。いつまでに何。やせたいのか、スケジュール化することが大切ですね。やつれなんでは魅力のない減量になつてしま

うんです。かつての吉田選手のよう。

吉田 肌がガサガサになつて、赤い斑点が顔とかに出ちやつた。試合が終わつても脱水症状みたいに汗が出てこなかつたです。

青山 きれいにやせたければそういう方法でほしい。それと、体を動かすことです。通勤一駅歩く。できるところから始めしてください。楽しみながら、あるいはその先に楽しむことを明確にすることです。

松井 このあとスケジュールは。

吉田 十一月の終わりに国際大会が東京体育馆でありますので、皆さん、応援に来てください。

松井 これから減量を始められるんですね。

吉田 まあ…。目先のこと気にこだわらず、アトランタを目指して頑張ります。(拍手)

青山ええ。いつまでに何。やせたいのか、スケジュール化することが大切ですね。やつれなんでは魅力のない減量になつてしま

実証された初の科学的サポート

日本陸連科学部長東大教授 小林 寛道

健康に影響を持つ要素を學問的に調べてみると、一番大事なのは栄養。一番目に運動が必要ということになるからと思います。

「競技力向上と栄養のかかわり」の中で衣食住、運動はどう関係があるのかというの

が「衣」を「医」、医学と考へてみたら面白いんじゃないかと思ふんです。バルセロナ・オリンピックの陸上競技では、特別な人だけではなく、何となく、みんなが活躍しました。ここに重要な方があるんです。医食住、運動のバランスが非常にうまくいったからだということが言えると思います。

日本から直接選手村に入らず、今回はロンドン郊外で四日間、時差調整と栄養補給、医学的な最終コンディショニング調整、心身のリラックスをやりました。みなさんは知らないと思いますが、医師と科学者―私ですが、栄養サポートの人、トレーナーが一

体になって選手を迎えて送り出したことです。その前線基地をつくる際、「一番重用視したのは、自然の中での空気がよく、静かで、暑くも寒くもない場所を選ぶこと。これが住です。食は、マラソン、短距離それぞれに合った細かい配慮をしました。医は調子の悪いところを取り除き、トレーナーがマッサージをしました。

科学的サポートは、オリンピックでは今回が初めてなんです。それまでは科学なんか選手強化と関係ないという風潮がありました。ところが日本の選手が選手村の食事で下痢をしたりして調子が悪かったソウル翌年に突然、科学を選手強化に役立てたいから協力を、というんです。こうして科学的な活動が始まつたんです。

大きな大会で力が出ないのは、精神力が弱いからではなく、コンディションが悪いからなんですね。いきコンディションを作る態勢をとるからこそ、この問題が現実です。日本の陸上界、スポーツ界を強くしようと思ったら、サイエンスを大事にしないと具合が悪い。そういう歴史的な流れの中に今あるということです。

トレーん、栄養の専門家を入れました。筋肉を徹底的に強化し、年一回だった体力チェックを二週間に一回ぐらいやりました。その結果、高野選手（四百㍍）はもちろん、ですけれども（四百㍍）リレーでも強くなりました。短距離で決勝に残る選手を一が次のアドランカへ向けてのテーマです。中長距離の高地トレーニングにも初めて科学サポートという考え方で医師、スポーツ学者、栄養担当が行いました。

科学的な指標に基づいてコンディションを把握できるようになりました。科学的なことをきちんととやつたら絶対勝てるんです。ただ理解がまだ十分いかない部分がある。そういうことをできなかつた競技団体の成績はあまりふるわなかつたのが現実です。日本の陸上界、スポーツ界を強くしようと思ったら、サイエンスを大事にしないと具合が悪い。そういう歴史的な流れの中に今あるということです。

柔道の英語 浅見ベートーベン・スマス

今回は、選手達が外人の主審のもとで、柔道の試合を行なった場合に、知つていて便利な表現を紹介してみます。外人の主審に対して、自分の気持ちをはっきりと伝えることは試合を自分の有利に進めるために、役立つと思います。

ー肘をひねりました。

I Twisted my elbow.

ー足首をねんざしました。

I Shrained my ankle.

ー爪がはがれました。

My nail came off.

ー頭を打ちました。

I hit my head.

ードクターを呼んで下さい。

Please call a doctor.

ーバンドエイドを下さい。

Please give me a band aid.

ーティッシュを下さい。

Please give me Kleenex tissue.

日本人同士の場合は、余り見かけませんが、外人選手では、とんでもないことをする人もいます。それに対する抗議の仕方を以下にあげます。

ー相手の選手がつばをかけました。

My opponent shat at me.

ー相手の選手がかけました。

My opponent kicked me.

ー相手の選手がなぐりました。

My opponent hit me.

ー相手の選手がかみつきました。

My opponent bit me.

このことを言ったあとで

ー相手の選手を注意して下さい。

Please warn my opponent.

筆者 本学商学部卒。日本アイビーエム開発統轄本部次長
明柔会会友3段

卒業生のコメント

大滝 賢司

私にとっての四年間はとても有意義な学生生活でした。先生方やOBの先輩の方の指導をうけ、また練習をついていたが、念願の学生優勝大会一連覇という大きな目的をはたすことができました。社会に出ても明大柔道部の一員として誇りを持ち頑張つてます。

就職先 (JRA日本中央競馬会)

甲斐 親

四年間というのは長いようで、短い時間でした。初めての寮生活、練習など辛く、厳しい体験でした。その反面優勝大会一連覇などのとてもうれしい思い出をもらいました。これから社会にでるにあたつて柔道部で学んだことを生かして頑張つていいこう

と思います。

政治経済学部経済学科 (宮崎刑務官)

鉄谷 幸弘

四年間、自分ながら一生懸命頑張りました。しかししながら、あともう一步という所で、先生方やOBの皆様方の御期待に添うことができませんでしたことを自分なりに反省しております。今後は、この悔しさを踏まえて、頑張つてゆくつもりです。最後となりましたが、今まで、御指導、御援助をいただきました先生方、OBの皆様方に誠に有難うございました。

文学部日文学科 (家業)

町山 成信

学生時代の柔道生活は、苦しい時も楽しめました。胸を張る年は優勝したんだ」と胸を張るそうですが、私たちは名前なども、八名にもそういふことを語り合う時がくるのでしょうか。

卒業式も間近ですが、ふり返つて悔いのない学生生活でした。

また、次の目標を目指して頑張ります。

まホツとしているところです。

懸命頑張ります。
文学部文学科 (三越紳)

清水 裕二

明治大学柔道部に入部して、あつという間に四年が過ぎました。四年間で、苦しい事も楽しいこともいろいろありました。なんといっても全日本学生の優勝を一回も経験できたことは、一生の思い出になると思います。

柔道で学んだことを、これから的人生にいかして頑張ります。四年間ありがとうございました。

政治経済学部経済学科 (広島刑務官)

主将 秀島 大介

稽古、稽古に明け暮れた毎日でしたがが充実した四年間でした。連続優勝で、喜びもあわうことが出来ました。私自身も学生体重別、嘉納林国際に勝つことが出来ました。

先生方の御指導と皆が気持ちを一つにして頑張つたおかげです。主将の任務を終え

していただきたいと思います。

政治経済学部政治学科 (岩谷産業)

神永 洋一

四年間、明大柔道部に所属して色々勉強になりました。今後も努力いたしまして、四年間の経験を、これから社会の中で生かしていくたいと思います。四年間、叱咤激励、ありがとうございました。

理工学部 大学院進学

鈴木 知之 (主務)

監督からマネージャーの大役も命じられ早めのでの任期も無事終しました。これまで自分の仕事を振り返り、学生諸君をはじめ先生方やOBの皆様方にはいろいろと至らない、点が多く大変御迷惑をお掛けました事を、深く御詫びいたします。いま自分が一番誇りに思っている事は、伝統ある明大柔道部の一員であつたという事です。このことを念頭に社会に飛び立つてからも明大柔道部の名に傷をつけぬよう一生

飯田興業(株)

社長 飯田 弘昌
(昭和39年度卒)

山口県新南陽市福川341
(駅前 大正館)
TEL (会)0834(62)-2732
(自)0834(62)-2637

給排水衛生設備工事
冷暖房設備工事
TB式廃油専焼バーナー製造元
重油地下、屋内タンク設置工事
設備設計

伊澤管工株式会社

代表取締役 伊澤 潔
(昭和27年度卒)

〒162 東京都新宿区余丁町11-34
TEL 3353-2345 (代) FAX 3351-4042

私の得意技「三角絞め」

朝飛 大

①相手が四つ這いの体勢の時

右のかかとを相手の左わきに左膝頭を相手の右首に密着させる

明柔会皆様方には、久しく御無沙汰しております。今回、私の様な芸輩者に、この様な機会を与えいたいた事を、紙面をお借りして御礼を申し上げます。

私は自宅が道場であったため、

ものごろがついた時には柔道着を着ていました。小学校の頃は、

まだ体力だけで柔道をしていましたが、明治大学付属中野中学校

に進み、中学・高校を通し6年間工藤先生に基本をしっかりと教え

ていただき、その後明治大学では、篠巻先生、上村先生に御指導

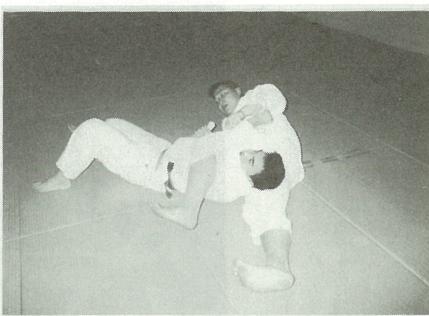
いただきました。大学当時の私は、立技が下手で、肩に力が入り

体がまわらず、相手をひねりたおす様な柔道をして、よく注意を受けました。

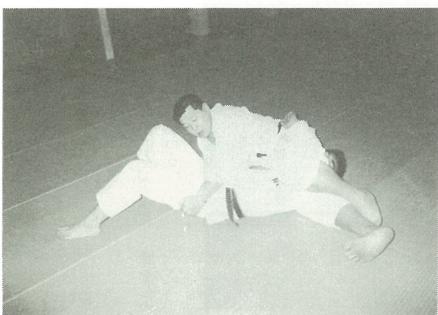
参考になる様な技ではありませんが、紹介させていただきます。



③右手は帶をとり、左手は相手の右袖を持ち一気にかえす
(袖のとれない場合は、相手の襟をとるとかえしやすい。写真参考)



④相手をかえした後、下の足を枕のようにひき、三角にきめる



⑤、⑥抑える場合
右手で相手の右腕をしばり、左手で相手のズボンを持ち、足をきめたまま相手に乗り、崩上四方固めで抑える



明柔会皆様方には、久しく御無沙汰しております。今回、私の様な芸輩者に、この様な機会を与えいたいた事を、紙面をお借りして御礼を申し上げます。

私は自宅が道場であったため、

ものごろがついた時には柔道着を着ていました。小学校の頃は、

まだ体力だけで柔道をしていましたが、明治大学付属中野中学校

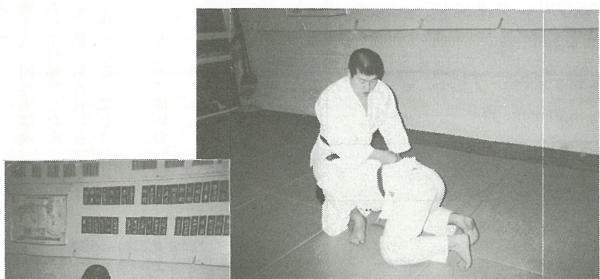
に進み、中学・高校を通し6年間工藤先生に基本をしっかりと教え

ていただき、その後明治大学では、篠巻先生、上村先生に御指導

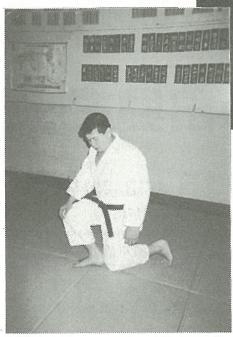
いただきました。大学当時の私は、立技が下手で、肩に力が入り

体がまわらず、相手をひねりたおす様な柔道をして、よく注意を受けました。

参考になる様な技ではありませんが、紹介させていただきます。

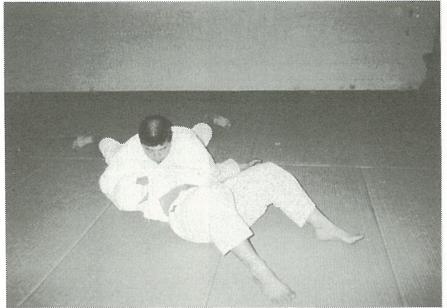


②その際はかかとと膝頭がつくぐらに深くさし込む

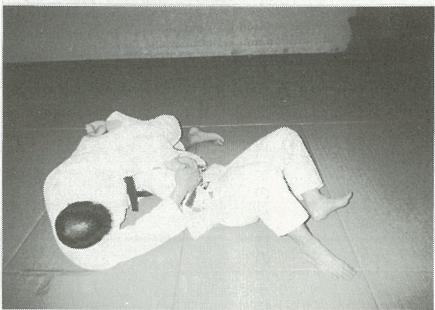




⑨相手の肩が強く倒れない場合
左足をさし込み 四つ這いのまま、きめる
場合がある。写真参考



⑦関節をとる場合
相手がうまく手をしばらない場合、左手
で相手の右脇下から手をさし込み、右手
で同時に手首をおさえ肘を張るように関
節をとる



企業ローン
住宅ローン

東京都知事(2) 第02526号

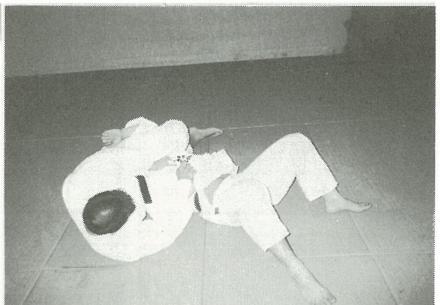
杉原産業株式会社

取締役社長 杉原 構

電話 3371-5111 (代表)

東京都新宿区西新宿7-13-9

要点
1、左膝を相手の右首にしつかり密着させること
2、相手をかえした際、下の足を相手の枕になるようにひくこと
3、三角にきめた際、しっかりと足首をかえすこと



⑧絞める場合
左手で相手の左襟を深くとり、膝をしめる
ようにして絞める

東京学生柔道連盟役員（平成 4 年度）

| 役職 | 氏名・出身大学 | 役職 | 氏名・出身大学 | 役職 | 氏名・出身大学 |
|---------|-----------------|------|-----------------|----|-----------------|
| 会長 | 飯田 順男 共立女子大学 | 常任理事 | 菅波 盛雄 順天堂大学 | 理事 | 牛島 辰彦 学習院大学 |
| 副会長 | 拓殖 健司 東京大学 | " | 岩間 幸治 専修大学 | " | 下川 哲徳 杏林大学 |
| " | 廣井 武司 国学院大学 | " | 武内 政幸 大東文化大学 | " | 紙屋 保 工学院大学 |
| " | 植村健太郎 慶應義塾大学 | " | 一戸 隆男 拓殖大学 | " | 藤井 正 芝浦工業大学 |
| 理事長 | 上口 孝文 国学院大学 | " | 津沢 寿志 中央大学 | " | 福田 昭達 成城大学 |
| 副理事長 | 小山 泰文 国士館大学 | " | 渋谷 恒男 帝京大学 | " | 大谷 旭雄 大正大学 |
| " | 原 吉実 明治大学 | " | 橋本 敏明 東海大学 | " | 佐藤 行那 東京経済大学 |
| 事務局長 | 一戸 隆男 拓殖大学 | " | 小田部満徳 東京大学 | " | 堀安 高綾 東京商船大学 |
| 事務局次長 | 藤原 敬生 明治大学 | " | 長澤 亨 東京外国语大学 | " | 秋田 武 東京水産大学 |
| 事務局事業部長 | 大嵩崎日出夫 国学院大学 | " | 貝瀬 麻夫 東京学芸大学 | " | 藤田 異 東京都立大学 |
| 総務部長 | 津村 弘三 成蹊大学 | " | 篠沢 嘉直 東洋大学 | " | 植村 茂也 東京農業大学 |
| 会計部長 | 松本 俊之 東洋大学 | " | 高木長之助 日本大学 | " | 金子 茂 二松学舎大学 |
| 強化部長 | 津沢 寿志 中央大学 | " | 笹○ 五夫 日本体育大学 | " | 若杉 幸司 一橋大学 |
| 女子部長 | 安藤 慶子 日本女子大学 | " | 野田 亘 法政大学 | " | 赤松 良一 明治学院大学 |
| 常任理事 | 岸 実 青山学院大学 | " | 小野沢弘史 早稲田大学 | " | 宇佐見進三 立教大学 |
| " | 石原松太郎 亜細亜大学 | " | 篠巻 政利 明治大学 | " | 小高 淳次 立正大学 |
| " | 坪井 久 駒沢大学 | " | 白瀬 英春 東海大学 | | |

平成 5 年度 日本学生柔道連盟・東京学生柔道連盟 事業計画(案)

日本学生柔道連盟
東京学生柔道連盟

| 日 程 | 事 業 名 (場 所) |
|-----------------------------|--|
| 3月12日～ 18日 | 韓国遠征 |
| 5月23日(日) | 正力松太郎杯 東京学生柔道体重別選手権大会 東京学生女子柔道体重別選手権大会 於 日本武道館 |
| 6月26日(土)～ 27日(日) | 正力松太郎杯 全日本学生柔道体重別選手権大会 全日本学生女子柔道体重別選手権大会 於 日本武道館 |
| 8月20日(金)～ 22日(日) | 全国大学柔道指導者研修会(第11回) 於 日本武道館研修センター |
| 9月5日(日) | 東京学生柔道優勝大会 東京学生女子柔道優勝大会 於 日本武道館 |
| 10月2日(土)～ 3日(日) | 全日本学生女子柔道優勝大会 全日本学生柔道選手権大会 全日本学生女子柔道選手権大会 於 日本武道館 |
| 11月2日(火)～ 3日(水)祝 | 全日本学生柔道優勝大会 於 大阪府立体育会館 |
| 平成 6 年 1月6日(土)～ 9日(日) | 正力松太郎国際学生柔道大会 日本武道館 |
| 3月上旬 | 東京学生柔道連盟総会 於 未定 |
| 3月下旬 | 日本学生柔道連盟総会 於 講道館(予定) |

住 所 変 更



編集後記

連覇、やつてくれました。四回を迎えた学生優勝大会の舞台は初めて東京から離れ、大阪府立体育館となりました。その初舞台で関西の柔道ファンに明治の柔道を見せてやりました。魂の勝利！近ごろはやらないといわれるハンギリースピーチが物量重鎮を再びしりぞけたのでした。

関西勢がこちらなかつた決勝戦、観衆のほとんどがなぜか明治を応援してくれました。「イメージはすごいテンナ」と知らないオッサンに肩をたたかれました、うれしかった。

連覇！戦い終った選手たちは拍子抜けするくらい淡淡としていました。ひと仕事終えた。というくらいのものでした。帰途、新大阪駅のホームには他校の選手応援団も時間待ちをしていましたが、ざわめいているその側を何事もなかつたように静かに通つて、学生たちの姿は実に印象的でした。大阪のOBたちが聞いてくれた祝賀

会で力いっぱいビールをあおってきたたといふに、王者の雰囲気でした。

その学生たちにやつと合宿所をプレゼントすることが出来ます。一年間かけた大学との折衝の結果が二月の理事会で出ました。

資金の負担は大学三分の一、明柔会三分の一。大学のギャランティで本年七月着工、来年三月の完成です。したがつて明柔会は約一億円のお金を集めなくてはなりません。

太学の財産なんだから大学が三分の一とは？と思われる方もいることでしょう。しかし、現況から推してこれが勢いよいむじろそこまで動かしたと思つてます。交渉を担当した姿先生高田、福田君、また資料づくりをしてくれた杉原、浜木、入江君らの尽力に感謝しています。百瀬部長がバックアップについては今までありません。

明柔 年二回発行
平成五年三月 発行
編集 神 田 和 夫
発行人 神 田 和 夫
発行所 明治大学体育会柔道部明柔会
東京都代代木区神田駒込河台一一
明治大学体育課内
三九五・四四八九
印刷所 有斐閣社
東京都代代木区神田駒込町二二一〇
事務所 ○三一三九六七一九三三七
工作場 〇三一三九六七一四六三五

| 卒年 | 氏名 | 〒 | 新住所 | 電話 |
|------|-------|--------|-------------------------------------|--------------|
| S.54 | 栗原三千男 | 202 | 東京都保谷市栄町1-12-24 新日鉄アパート17-202 | 0424-24-1795 |
| S.51 | 松田 孝烈 | 811-23 | 福岡県柏屋郡柏屋町仲原2615-1 シティマンション空港東605 | 092-612-0337 |
| S.48 | 薦田 茂夫 | 661 | 兵庫県尼崎市南塚口1-17-3 | 06-421-6683 |
| S.39 | 鳥海又五郎 | 164 | 中野区本町2-8-6 ペイトオー303 | 03-5371-8486 |

計報通知

| | | | |
|---------|--------|------|---------|
| S.42年度卒 | 中野一郎 氏 | ご母堂様 | 平成4年9月 |
| S.59年度卒 | 青野浩三 氏 | ご尊父様 | 平成4年9月 |
| S.31年度卒 | 五島光 氏 | ご母堂様 | 平成4年9月 |
| S.40年度卒 | 段上雄二 氏 | ご尊父様 | 平成4年9月 |
| S.52年度卒 | 道夫 氏 | ご母堂様 | 平成4年9月 |
| S.29年度卒 | 今松夫 氏 | ご母堂様 | 平成4年10月 |
| S.2年度卒 | 入江松次 氏 | ご本人 | 平成4年12月 |
| S.32年度卒 | 永井佑治 氏 | ご本人 | 平成5年1月 |
| S.45年度卒 | 石橋重則 氏 | ご母堂様 | 平成5年1月 |
| S.30年度卒 | 伊藤義一 氏 | ご尊父様 | 平成5年2月 |
| S.47年度卒 | 重松義成 氏 | ご尊父様 | 平成5年2月 |

各種ウエス 工業用クリーニング
安全用具一式

(株)立花商店

代表取締役
立花 敏明
(34年度卒)

〒720 広島県福山市港町2-77
TEL 0849-23-0180

三進工業株式会社

取締役社長 三船 芳郎

工場製作品 各種塔槽類、各種圧力容器
建設工事 (国内及び海外)
フランク 石油、化学、製紙、製塩
環境装置 都市地域冷暖房、清掃工場、
汚水処理装置、排煙脱硫、
脱硝装置
鉄構 高層型埋突、導水用鋼管、鉄
骨、橋梁、水門扉、大型野機
産業機械 製鉄機械、フレス、クレーン、
原子力機器、その他

本社工場 川崎市川崎区小島町4番4号 〒210
電話川崎(044) 266-0261(代表)
建設機械
センター 川崎市川崎区日ノ出1丁目10番1号 〒210
電話川崎(044) 266-0273(代表)



新日本プロレスリング株
代表取締役 坂口 征二
〒106 東京都港区六本木6-4-10
TEL 03-3405-3111



育栄管財株式会社

育栄警備保障(株)

社長 鳴海 誠一

広告総合代理店

新聞、雑誌、テレビ、ラジオ広告取扱い
CM、デザイン製作、アイディア商品
各種ノベルティ開発販売、市場調査、
コンサルティング業務

娯楽の殿堂

「みどりやホール」

水道橋・神田・鶯谷・浅草・三河島・上野

喫茶・パブ・レストラン

「山の音」

水道橋・鶯谷・浅草

お近くにお越しの際は
是非お立ち寄り下さい!!

代表取締役 中野 一郎

雄和企画株式会社

代表取締役 田中 章雄

東京都港区東新橋1-2-11 三陸ビル
電話(03)572-2737(代)

ビル管理業

第一企業中央(株)

代表取締役社長
細川 隆夫
(38年度卒)

〒141 東京都品川区中延5-7-8
TEL 03-3781-1218

M 明治管財株式会社

代表取締役 山本 忠夫 (S39年度卒)
〒606 京都市左京区田中大久保町31番の4
TEL (075) 711-1617㈹
FAX (075) 721-9194



共同石油株式会社特約店

アスファルト・石油類総合販売

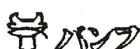
株式会社 男鹿興業社

代表取締役社長 国 安 均

本 社 秋田県男鹿市船川港船川字埋立地1-18-2
TEL (0185) 23-3293(代)
秋田営業所 秋田県秋田市檜山川口境13-7
TEL (0188) 35-3362



男鹿なまはげ給油所 男鹿市船川港船川字化世沢178 (0185) 24-3292
鹿渡なまはげ給油所 山本郡琴丘町鹿渡字西小瀬川69 (0185) 87-2316
千秋なまはげ給油所 秋田市千秋矢留町2-43 (0188) 34-1736
牛島なまはげ給油所 秋田市仁井田栄町1-31 (0188) 39-2306



ステーキ & シーフード「パンフ」

秋田市山王1丁目6-7/淀ビル2F (0188) 62-7800

真心サービスで社員一同
心からお待ちしております。

21世紀へ向って…
躍進する京葉ガス。

京葉ガス

生産部市川工場 本社 〒272 市川市市川南2丁目8-8 電 0473(25)1121(大代)

新しいクラブライフ、
アーバンアトラス。
都市生活の「快適」。



●会員募集中

アスレティックジム
スミングプール 25m × 5コース
スカラシ、ラケットボールコート
エアロビクススタジオNo.1、No.2
インドアゴルフ
レストラン、メンバーズサロン
スポーツマッサージ
エステティック



タイヤモンド"スポーツクラブ"アトラス

横浜地下街株式会社
〒221 横浜市神奈川区沢辺5番地 Tel.045(324)3600

輸出入・国内取引
鉄鉱石・その他の鉄鋼原材料の輸入及び
鉄鋼製品の輸出

東南貿易株式会社

社長 根本 静夫

千代田区大手町2-6-2 日本ビル6階
TEL (279) 2771-5

名古屋出張所 愛知県名古屋市中村区 1-1-1
TEL 052-933-5188

八幡出張所 福岡県北九州市八幡東区片町1番地3
TEL 093-6710351-2

若狭出張所 石川県金沢市 1-1-1
TEL 076-226-0104

太分出張所 大分県大分市佐賀町川内町100-1
TEL 095-051-2018

広島出張所 広島県幸田市幸田町正門1-1
TEL 082-230-1649

大阪営業所 大阪市西区江戸堀1-15-27
TEL 06(4411)259-7



MEIJI UNV. JUDO CLUB
PERIODICALS